



愛媛県「三浦保」愛基金 5年間の歩み

愛媛県「三浦保」愛基金創設5周年記念集

はじめに



愛媛県「三浦保」愛基金は、故三浦保氏の御遺志を受け継ぐ株式会社ミウラから、平成19年11月に御寄付いただきました三浦工業株式会社の株式100万株を原資として設置いたしました。

その御遺志を生かすため、御生前、熱意を持たれていた環境保全や自然保護、社会福祉の分野において、本基金を基に、平成20年度から団体への助成及び県直営事業を実施しており、このたび、創設から5年という節目を迎えました。

ここに御芳志に対し、県民を代表して、厚くお礼申し上げますとともに、これまでの感謝の気持ちを込め愛媛県「三浦保」愛基金の5年間の歩みを記念集にまとめました。

今後とも、愛媛の自然環境の保全や社会福祉の充実のために、本基金を最大限に活用させていただき、故三浦保氏が大切にされていた「愛は愛を生み 信は信を生む」という言葉を胸に、“愛^え顔あふれる愛媛”づくりに努めて参ります。

平成25年7月

愛媛県知事 中 村 時 広

目次

1	基金設立の経緯	3
2	基金の概要	4
3	主な事業の概要	
(1)	環境保全・自然保護分野公募事業	5
	千丈川水辺のにぎわい体験隊（20年度）	5
	上林ひまわりプロジェクト～一人一本から運動～（20年度）	6
	「国蝶・オオムラサキの里」再生事業（21年度）	7
	巣箱作りとブッポウソウの巣箱架け（21年度）	8
	西条水生昆虫図鑑作成事業（22年度）	9
	「グリーン電力 de 運動会 !!」事業（22年度）	10
	和気浜公園整備公共工事に伴う希少野生動植物保全啓発活動（23年度）	11
	子どもと親のそばづくり体験ファーム（23年度）	12
	マイクロ水力発電の実演展示による普及啓蒙活動（24年度）	13
	図鑑「松前町の水生生物」（24年度）	14
(2)	社会福祉分野公募事業	15
	認知症サポート支援事業（20年度）	15
	ダウン症児(者)のダンスレッスン&ダンスライブ（20年度）	16
	乳幼児親子のための子育て講座（21年度）	17
	静的弛緩誘導法親子学習会・研修会と移動研修会の開催（21年度）	18
	地域福祉・愛媛版 私たちが地域で暮らしていくために 本当に必要なものは何かを見つける事業（22年度）	19
	食から始まる健康寿命講座（22年度）	20
	相談支援事業 ピア相談員事業（23年度）	21
	遊友学舎の園芸療法士による親子園芸教室（23年度）	22

災害時における聴覚障害者を取り巻く環境改善についての研修会（24年度）・・・	23
災害時透析医療（24年度）	24
(3) 県直営事業	25
えひめ結婚支援センター（仮称）運営事業（20年度）	25
高校生地球温暖化防止推進事業（21年度）	26
パーキングパーミット制度推進事業（22年度）	27
自然公園エコロジカルふれあい事業（23年度）	28
エコハイスクール推進事業（24年度）	29

4 実施事業

(1) 実施事業の状況	30
(2) 環境保全・自然保護分野公募事業一覧	31
(3) 社会福祉分野公募事業一覧	41
(4) 県直営事業一覧	52
(5) 三浦保環境賞	55

1 基金設立の経緯

平成19年、三浦工業(株)の創始者である故三浦保氏の「事業の成功は自分だけの力ではない。お世話になった社会へ恩返しをしたい。」との御遺志を受けられた、同氏夫人の昭子氏から、県に対して寄附の申出をいただいた。

同年11月5日、昭子氏が代表取締役会長を務めておられる(株)ミウラから、三浦工業(株)の株式100万株の寄附を県に受け入れさせていただき、これを原資として基金を創設。基金の名称は、三浦保氏及び昭子夫人の社会貢献への思いを後世に伝えるため、『三浦保』愛基金」とした。

基金の使途としては、三浦保氏が生前強い熱意を持たれていた分野のうち、まだ具体化されていなかった環境対策及び社会福祉の増進について、主として非営利団体等への助成を行うほか、県直営事業も実施する。

また、県が推進する県民のための施策に役立てる観点から、知事が必要と認める事業（知事特認事業）も対象とする。

なお、環境分野では、(株)あいテレビが実施していた「三浦保環境賞」と県の「えひめ環境賞」を合併して「環境保護活動顕彰・啓発事業」とし、環境保全や自然保護に取り組む個人や団体の表彰及び活動紹介の取組みに対する助成も行うこととした。

略 年 表

年 月	事 項
平成19年11月 5日	(株)ミウラから寄附受入れ
11月21日	知事から寄附者への感謝状贈呈式
12月21日	愛媛県「三浦保」愛基金条例の制定
平成20年 2月25日	愛基金創設祝賀会
3月	20年度当初予算成立
4月～5月	20年度助成団体の公募
6月	20年度助成団体の選定
7月	20年度県直営事業の募集
8月	20年度県直営事業の選定（20年度9月補正予算に計上）
8月30日	(株)ミウラが紺綬褒章を受章
10月	21年度県直営事業の募集
11月	21年度県直営事業の選定（21年度当初予算に計上）

平成21年度以降は、毎年2～3月頃に次年度の助成団体の公募、5月頃に助成団体の選定、9～10月頃に次年度の県直営事業の募集、11月頃に県直営事業の選定を実施している。

2 基金の概要

1 基金の設置

愛媛県「三浦保」愛基金条例（平成19年12月21日 公布・施行）

2 基金の用途

対象分野（条例第5条第1項に規定）	対象事業
○環境保全・自然保護分野 ○社会福祉分野 ○その他知事が必要と認める事業（知事特認）	○公募事業（非営利団体への助成） ○県直営事業 ○環境保護活動顕彰・啓発事業

(1) 公募事業の制度概要

分 野	環境保全・自然保護分野	社会福祉分野
所管部	県民環境部	保健福祉部
補 助 対 象	以下の非営利団体・法人 ○特定非営利活動法人（NPO） ○ボランティア団体 ○市民活動団体 等	以下の非営利団体・法人 ○社会福祉法人 ○公益社団法人、公益財団法人 ○その他社会福祉の向上に寄与する事業を行う法人・団体
対 象 業 務	○地球温暖化防止を推進する活動に関する事業 ○環境学習を推進する活動に関する事業 ○生活環境を保全する活動に関する事業 ○自然環境を保全し、又は活用する活動に関する事業	○高齢者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業 ○障害者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業 ○子育て支援に関する事業 ○地域福祉活動に関する事業 ○その他社会福祉の向上に関する事業
補助団体の選定方法	事前審査を実施 ○一次審査…書類審査 ○二次審査…部内審査会でのプレゼンテーション } ⇒ 「基金運営委員会」で最終決定	

(2) 県直営事業の制度の概要

関係部局において、「環境保全・自然保護」や「社会福祉」分野の課題に対応した事業を実施する。また、喫緊の重要課題等について、知事特認として柔軟かつ迅速な対応を図る。

(3) 環境保護活動顕彰・啓発事業の概要

環境保護に貢献した団体や個人を表彰（三浦保環境賞）し、普及啓発事業を行う団体に對して補助金を交付する。（対象団体：三浦保環境賞実行委員会）

3 「三浦保」愛基金運営委員会

(1) 役割

- 公募事業の助成先の選定
- 県直営事業の対象事業の選定等

(2) 構成

（平成25年7月1日現在）

区 分	人数	委 員 名
行政関係者	2	◎永野 英詞（元 愛媛県知事補佐官） 東倉 勝利（愛媛県企画振興部長）
学識経験者	3	○高須賀久徳（㈱あいテレビ常務取締役営業局長） 田中チカ子（（公財）えひめ女性財団理事長） 甲斐 朋香（（学法）松山大学法学部准教授）
寄附者代表	1	三浦 良子（㈱ミウラ取締役）

◎委員長、○副委員長

3 主な事業の概要

(1) 環境保全・自然保護分野公募事業

団体名 NPO 法人 かろうそ復活プロジェクト

事業名 千丈川水辺のにぎわい体験隊
(20年度助成事業)

事業概要

- ◆八幡浜市千丈川の魚・水生昆虫について、専門家の方と一緒に調査することで、ノウハウを取得
- ◆観察できた生きものについて、名前の調べられる資料を作成
- ◆千丈川で観察会を実施

事業の成果

☆魚類の調査では、愛媛初記録であるヒトミハゼをはじめとして、御荘湾周辺でのみで記録されていたクロコハゼ(愛媛県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類)やタネハゼ(同)など24種を記録した。

また、貝類では32種が記録できた。

☆魚類の図鑑については、観察会で参加者に提供したほか、図書館や近隣の小中学校と高校25校へ配布した。

水生昆虫については、事業中観察できた種類について識別表を作成した。

☆多種の魚が観察できた河口域で観察会を行うことで、身近な川にたくさんの生きものが息づいていることを感じていただいた。

水生昆虫の調査



自然観察会

助成団体から一言

◆今後活動する団体へ

事業にあれこれ盛り込まず、シンプルにすることが大切だと思います。事業内容とそれを実行する日程を丁寧に練って絞り込んでいくことが近道だと思います。

団体名

上林を考える会

事業名

上林ひまわりプロジェクト～一人一本から運動～ (20年度助成事業)

事業概要

- ◆まちづくり団体（SARA）等と協力してひまわりを育て、収穫した種からひまわり油「上林エコサラ油」を製造
- ◆地元小学校と地域の交流イベントや環境啓発イベント等を実施
- ◆上林区内外から廃食油を回収してBDF（バイオディーゼル燃料）を精製し、これによりクリスマスイルミネーションイベントを開催

事業の成果

- ☆幼児から高齢者まで、全ての世代が参加した地域をあげての事業となり、地区内全域でひまわりを見ることができるようになった。
- ☆上林区内の団体はもとより、上林区外の市民ボランティア、市、大学、民間企業など、多くの方の協力を得て事業が実施できた。
- ☆誰もが気軽に参加できるイベントの開催により、「環境」「まちづくり」などの地域づくりをより身近な取組みと感じてもらえた。

多世代交流イベント＆環境イベント



一人一本から運動の広がり

助成団体から一言

◆応募してよかったこと

私たちの団体は、上林地区の活性化を目指して活動しており、その一つとして「上林ひまわりプロジェクト」に取り組み、これに助成していただきました。

事業の結果、三世代による新しい事業展開、「上林エコサラ油」の誕生、BDF ゴルフカート2台の完成など、上林に新しい地域自慢を誕生させることができたとともに、市内外に大いにPRすることができました。心から感謝しております。

団 体 名

NPO 法人 愛媛昆虫類調査研究機構

事 業 名

「国蝶・オオムラサキの里」再生事業
(21年度助成事業)

事業
概要

- ◆オオムラサキ生存の可能性が最も高い久万高原町内で、分布・生息環境状況を調査
- ◆先進地視察、幼虫の飼育・母蝶からの採卵方法など飼育方法の研究、生息地であるクヌギ林の間伐など生息環境の保全方法の試行等により、保全策を検討

事業の
成果

- ☆生息調査により、予想を大幅に下回る壊滅状態に近い生息数であることが判明したため、「オオムラサキの里」再生には少なくとも数年を要すると考えられる。
- ☆構成員以外の賛同者が幼虫の食樹エノキの苗を提供してくれ、植樹にも参加してくれた。
- ☆前例もなく短期間で成果が上がる事業ではないため、今回の事業成果を踏まえ、さらに創意工夫を重ねたい。

樹液に集まるオオムラサキ



先進地視察
(広島県府中市)

助成団体から一言

◆今後活動する団体へ

自然を再生する事業は非常に難しい。ただ単にひとつの種が増えればそれでよいわけではなく、人間の関与は最小限に留め、自然環境が全体として回復するよう見守ることが大事だと思う。

団体名

やませみ22

事業名

巣箱作りとブッポウソウの巣箱架け
(21年度助成事業)

事業概要

- ◆愛媛県レッドデータブックの絶滅危惧ⅠB類に指定されているブッポウソウ用の大型巣箱を大洲市や近隣の小学生や高校生と一緒に作成するとともに、自然への理解を深め、保全の普及を行った。
- ◆作成した巣箱を、平成20年にブッポウソウが確認された旧肱川町周辺の、背後に森があり前面に田んぼのある適地に架設した。

事業の成果

- ☆これまでも生徒や学生に自然のすばらしさを伝える普及活動は行ってきたが、直接作業を行ってもらった活動ができた。
- ☆予定より多く32個の巣箱を架設することができた。
- ☆巣箱の架設後に見守っていただけるように、チラシを作成して地域へ配布した。

巣箱架け



巣箱作り

助成団体から一言

◆今後活動する団体へ

周辺の学校と協働で事業ができたのは、それまでに先生方からの観察会依頼に丁寧に対応して信頼関係を築いてこられたからです。日頃の活動が大切だと思います。

団 体 名

西条自然学校

事 業 名

西条水生昆虫図鑑作成事業
(22年度助成事業)

事業
概要

- ◆県東予地方の河川に生息する代表的な水生昆虫である、カワゲラ、カゲロウ、トビケラについて、写真とイラストを使用したハンドブックを作成
- ◆作成した図鑑を、行政機関や県下で自然観察会を開催している団体に配布

事業の
成果

- ☆これまで蓄積した成果をまとめたハンドブックを500部作成し、自然観察を行っている団体に配布でき、多くの方から配布の要望をいただいた。
- ☆掲載した昆虫の採集を、学生ボランティアとの協働で実施できた。
- ☆作成に関わったメンバーの知識が向上し、愛媛県内の生物をハンドブックにまとめる作業の重要性が共有できた。



採集地



完成した図鑑

助成団体から一言

◆応募してよかったこと

私たちが実施する自然観察会の中で、河川の生き物に関しては、その名前を調べることの難しさや使いやすい図鑑の不足を感じていたため、本事業でその作成に取り組みました。「こんなガイドブックがあればいいのに」という発想から、私たち自らが勉強でき、使いやすい参考書を作り、残すことができました。

◆今後活動する団体へ

西条自然学校では、これに続く活動として、西条の特徴的自然環境ともいえる水辺の生物を一本のテーマとして、分野を広げながら調査や保全活動に取り組みたいと考えています。こうしたシリーズ的な進め方も環境活動の継続の有効な一手法となるのではないかと思います。

団体名

NPO 法人 愛媛県環境保全協会

事業名

「グリーン電力 de 運動会!!」 事業
(22年度助成事業)

事業概要

- ◆愛媛県内の幼稚園、保育園、小・中・高等学校、大学から公募した事業賛同校において、使用済天ぷら油を回収
- ◆生徒等が主体となって、回収した天ぷら油をバイオディーゼル燃料としてリサイクルし、運動会等の学校行事において発電機の燃料として使用した。

事業の成果

- ☆13校の生徒と保護者及び教職員、そして地域住民の協力を得て事業実施できた。
- ☆事業実施により、約8,000CO₂kgの二酸化炭素排出削減につながった。
- ☆本事業をきっかけに、学校行事の実施だけでなく、送迎バスにバイオディーゼル燃料を導入した幼稚園もあった。

学校行事等での使用



使用済天ぷら油の回収

助成団体から一言

◆うまくいったところ

多くの学校を巻き込んで事業を実施した結果、たくさんの方に使用済天ぷら油の回収活動を知ってもらうことができました。

回収量が数値化されるので、頑張りが目に見えたのが良かったと思います。

団体名

愛媛県立伊予農業高等学校
伊予農希少植物群保全プロジェクトチーム

事業名

和気浜公園整備公共工事に伴う希少野生動植物保全啓発活動
(23年度助成事業)

事業概要

- ◆松山市が和気浜後背湿地を埋め立て、公園を整備する公共工事を行うに当たり、湿地内に希少野生動植物の保全ゾーンを作り、公園外に一時避難させた希少野生動植物を、工事完成後、保全ゾーンに移入・移植した。
- ◆保全ゾーンのモニタリングを行うとともに、小学校等に啓発ポスターを配布し、終わりのない管理体制を地元に引き継いだ。

事業の成果

☆保全ゾーンにアキノミチヤナギ、ウラギクなどの塩性湿地植物や、ウネムシロ、コメツブガイなどの貝類、メダカなどの9種類の希少種を移すことができた。
☆一緒に活動した地元の児童・生徒の生態系保全や環境問題に対する意識が高まった。

啓発ポスターの作成



保全ゾーンへの移植

助成団体から一言

◆今後活動する団体へ

希少種保全の活動は、行政・大学・公民館・小中学校などと連携して実施することが大切です。地域住民や公園利用者などに対して活動を理解していただくため、今回、啓発ポスターや看板を制作しましたが、その資金が不足しましたので、「三浦保」愛基金を使わせていただきました。

現在、活動をされている人、これから活動を始める人は、この基金の活用を考えてみてはどうでしょうか。

団体名 プロジェクト地球っ子ひろば

事業名 子どもと親のそばづくり体験ファーム
(23年度助成事業)

事業概要

- ◆多種多様な生物が残る耕作放棄地を復活させた里地で、地域の親子がそばの栽培・加工作業を体験
- ◆作業の前には、観察力をアップさせる自然体験ゲームを取り入れるなど、一連の工程を通じて、自然と調和して生きていくことの大切さを理解する機会を提供

事業の成果

- ☆五感を使った体験活動を組み合わせて、楽しく進められる体験型農作業環境教育プログラム活動の実証ができた。
- ☆イベントを5回開催し、耕作放棄地にそばの花を咲かせ、親子のにぎやかな声を響かせたことで、周囲放棄地の整備活性化に影響を及ぼした。



宝さがし



そばの種蒔き

助成団体から一言

◆応募してよかったこと

この基金のおかげで農作業の道具が揃えられ、道具を持たない親子が身一つで来場して活動に参加できる環境をつくり出すことができた。

◆工夫したところ

辛く単純な農作業を持続させようとして、自然体験ゲームや竹細工作りを活動プログラムに組み込む工夫をした。

◆苦労したこと

作物栽培には鳥獣・虫被害、雨・風・気温等の自然現象がつきまとうため、イベントの日程に間に合わせるべく対応しなければならない裏方での農作業に苦労させられた。

団体名

にいはま環境市民会議

事業名

マイクロ水力発電の実演展示による普及啓蒙活動
(24年度助成事業)

事業概要

- ◆小学生を対象とした開放周流形水車の組立て実習や実演展示を行い、水車への理解と関心を深めた。
- ◆組立てた開放周流形水車を活用したマイクロ水力発電システムを作成し、イベント会場などで実演展示
- ◆農業用水路で、マイクロ水力発電システムの発電実験を行った。

事業の成果

- ☆小学生を対象とした水車の組立て実習や実演展示は、自然エネルギーへの関心と理解を深め、環境教育の効果があつた。
- ☆「あかがね工業博」、「にいはま環境広場」、校区の文化祭などの会場で実演展示し、地域住民の小水力発電に対する関心を深める機会となつた。
- ☆展示が新聞等で報道されるなど、地元だけでなく県下でPR効果があつた。

マイクロ水力発電の実演展示



水車の組立て実習

助成団体から一言

◆うまくいったところ

本事業は、やや大きな木製の水車キットの組立て実習を行ったが、小学生に好評であつた。

◆苦労したこと

一般市民向けの実演展示は、水車の移動、会場での据付けなどに多数の人手と労力を要したことが難点であつたが、PR効果はあつたと考えられる。

団 体 名

愛媛県立伊予高等学校科学部

事 業 名

図鑑「松前町の水生生物」
(24年度助成事業)

事業
概要

- ◆松前町では、泉の水を用いた農業が続けられており、年間を通して水路にはきれいな水が流れているが、そこに生息する動植物を調査研究し、生息状況をまとめた図鑑を作成
- ◆作成した図鑑は、町内各機関や小中学校などに配布するとともに、研究内容を、学校の創立30周年記念文化祭でも発表

事業の
成果

- ☆町内で生息する85種類の淡水魚、水中の無脊椎動物、両生類、淡水生プランクトン、水草をまとめた図鑑を2,000部作成した。
- ☆作成した図鑑は、町内の小中学校や、図書館、県内各機関へ配布した。また、研究内容を学校創立30周年記念文化祭で発表するなどした。
- ☆図鑑等を通じて松前町の貴重な生態系を紹介することで、地域の小中学生等が、地域の環境について知る機会を提供することができた。

完成した図鑑



福德泉での採取風景

助成団体から一言

◆応募してよかったこと

助成を受けて図鑑を作成する機会をいただきました。ありがとうございました。

図鑑作成においては、生物を採取することはもちろんのこと、生物の同定や編集作業においても苦労しました。生物名は分からないものが多く、専門家の方にも伺いながら完成にこぎ着けました。

自分たちの活動が図鑑という形になったことが非常に嬉しく、今後も続ける動機付けにつながりました。また、地域の役に少しでも立つことができ、良かったです。

(2) 社会福祉分野公募事業

団体名 社会福祉法人 久万高原町社会福祉協議会

事業名 認知症サポート支援事業
(20年度助成事業)

事業概要

- ◆総合学習の時間を利用して絵本教室を開催し、小学生・中学生が認知症について学んだ。
- ◆小・中学校区の教職員、ボランティア団体、地域住民を対象に、認知症の方を地域の中で共に支え合える取組みの一環として、認知症サポーター養成講座を開催
- ◆認知症高齢者支援の先進地である福岡県大牟田市で、視察研修を実施

事業の成果

- ☆子どもから地域住民まで、多くの方に認知症に対する理解を深めてもらうことができ、近隣での支え合いの意識が高まった。
- ☆活動を通じて、地域や学校からの要望を拾い上げることができた。
- ☆認知症を支える地域づくりは、すぐに目に見える形で結果が出ないものであるため、今後も継続した取組みを行うとともに、独自の創意・工夫を見出し、積極的な事業展開を図りたい。

子どもたちの認知症理解のための絵本教室



認知症サポーター養成講座

助成団体から一言

◆うまくいったところ

基金を活用したことが一つの契機となって、単年で終わることなく様々な形で継続して取り組むことができた。

◆活動してみても

継続した活動に取り組んでいくための契機となり、他機関等と連携して地域福祉推進に積極的に取り組めるようになった。

◆苦労したこと

単年活動で終わってしまうことがないよう、今後どのように取り組んでいくべきか工夫点を見つけることに苦労した。

今後活動する団体へ

迷っているなら基金を活用してみても…。想像する活動から創造活動が生まれるかも！？

団 体 名

日本ダウン症協会愛媛支部

事 業 名

ダウン症児(者)のダンスレッスン&ダンスライブ
(20年度助成事業)

事業
概要

- ◆ダウン症児(者)のためのダンスレッスンを、毎月2～4回程度実施
- ◆砥部町文化会館で、JOYPOPダンスライブを開催
ゲストとして県内のダンスグループも招へい

事業の
成果

- ☆ダンスレッスンは以前より回数を増やし、さらに上級をめざす人たちにも対応した練習ができ、質的にも向上した。
- ☆ダンスライブには約200名の観客が来場し、広く一般の方々に楽しんでもらうことができた。
- ☆特にライブは、ダウン症児(者)の素直で明るい気持ちがストレートに届くと好評で、障害をもつ人への理解を深めるきっかけができた。

JOYPOP
ダンスライブ



ダンスレッスン

助成団体から一言

◆今後活動する団体へ

「三浦保」愛基金の助成をいただいて啓発活動が続けています。その中でも、ダウン症をもつ人たちが自身が発信するダンスライブは、一般社会の人たちにダウン症を理解していただく好機になり、心のバリアフリーも広がっていると確信しています。「三浦保」愛基金は、「愛ある愛媛」にしようと夢をもつ人たちの背中を押してくれます。どうぞチャレンジしてください。

団 体 名

NPO 法人 子育てネットワークえひめ

事 業 名

乳幼児親子のための子育て講座
(21年度助成事業)

事業
概要

- ◆子育て中の親や子育て支援に興味がある人たちを対象として、子どもへの理解や子育て力の向上、スキルアップを図る実践的な講座を開催
- ◆カナダ発祥の子育て中の親支援プログラム Nobody's Perfect (ノーバディパーフェクト) ファシリテーター養成講座を受講し、ファシリテーターの資格を取得して、親向けに Nobody's Perfect 講座を実施

事業の
成果

- ☆全ての講座がワークショップ形式だったため、参加者のモチベーションアップにつながり、講座終了後も次回講座への期待の声が聞かれた。
- ☆それまで四国内で実施されていなかった Nobody's Perfect プログラムを初めて開催できたことは、今後の子育て支援の質の向上に繋がっていくと思う。

子育て支援者（アドバイザー）養成講座



Nobody's Perfect 講座

助成団体から一言

◆うまくいったところ

基金を活用して子育て支援関係のファシリテーター資格を取得したので、その後も資格を活用した活動を続けています。他の団体から講師依頼を受けることもあります。

◆苦勞したこと

講師の日程調整などで、事業決定してから開催まで時間が少ないので第一希望の講師を招へいできなかった。

◆今後活動する団体へ

NPOは、事務的な手続や報告書作成が大変苦手です。何度も経験することで負担が少なくなってくるので、事業実施だけでなく、行政とのやりとりも大切にしてほしいと思います。

団体名

松山肢体不自由児・者父母の会

事業名

静的弛緩誘導法親子学習会・研修会と移動研修会の開催
(21年度助成事業)

事業概要

- ◆筑波大学付属桐ヶ丘特別支援学校から静的弛緩誘導法の専門家を講師に招き、県内の養護学校教諭や保護者を対象とした学習会・研修会を開催
- ◆毎月、県下各地で、肢体不自由児・肢体不自由の成人、保護者、教員等を対象として、静的弛緩誘導法の移動親子学習会を開催

事業の成果

☆学習会・研修会は、多くの先生方に勉強する機会を提供することができ、今後、この支援技術が子ども達に還元されることを考えると、大きな成果があった。
☆親子学習会は、今まで中予のみの開催だったが、東・南予でも開催することができ、無理のない支援方法とその効果で喜ばれた。
また、地域の作業所や施設等も参加し、多くの出会いと広がりがあった。



静的弛緩誘導法 親子学習会・研修会



移動親子学習会

助成団体から一言

◆応募してよかったこと

私達の団体の歴史は結成して51年、現在取り組んでいる肢体不自由児・者に対する訓練会は40年目になります。一番困ったのは中央から専門家をお呼びする費用の捻出です。この基金のおかげで、資金集めに奔走する時間と労力が半減、本業の訓練に没頭することができ、さらに新しい取り組みや、県下各地の訓練会へ拡大することができるようになりました。

◆今後活動する団体へ

応募の秘訣を申し上げます。当然、企画がしっかりして皆さんに賛同を得られるもので結果の出る企画、最後までやり遂げられる企画であること。企画が完成すれば80%成功です。また、最後まで一緒にやり遂げる仲間が最低3名いることです。ずさんな企画、最後までやり遂げる意思のない人では無理ですね。

社会に貢献できるということは担当者として誇りを持てます。

色々やりたい事を企画している方、良い企画のある方、行動を起こしましょう。役に立つ企画ならば、審査に何度かの関門がありますが、必ず認められます。自信を持ち臆せず応募することです。

みなさんに賛同得られる事業ならば必ず審査OKです。頑張ってください。

団 体 名

縁側プロジェクト

事 業 名

地域福祉・愛媛版 私たちが地域で暮らしていくために
本当に必要なものは何かを見つける事業
(22年度助成事業)

事業
概要

- ◆「第14回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラムin えひめ」において、愛媛発の分科会を設置・運営
- ◆フォーラム終了後も企画会議を継続し、県内の地域福祉の活性化を図った。

事業の
成果

- ☆高齢者福祉、地域づくりの分野におけるトップランナーの講師を招へいし、「団塊世代の老い方・死に方・支え合い方」をテーマとした分科会を運営した。
- ☆県内外を問わず、これまでやりとりのなかった様々な人や団体と交流し、新しいネットワークを構築することができた。
- ☆福祉関係者以外の一般住民も多く参加し、誰もが安心して老いることのできる地域にしていけるために、今何をしなければならないかを地元・愛媛に残すとともに、全国に向けて発信することができた。

分科会会場



フォーラムメイン会場の様子

助成団体から一言

◆活動してみて

助成事業が一つのきっかけとなり、この「老いる・支える・死ぬ」ということをテーマとしたセミナーにたくさんの人が共感と関心を示してくれるようになり、現在では、県内6～7箇所、県外も2県で開催され、広がりを見せています。

助成事業の年度が終わった後も、継続的な取り組みが大切です。当グループも財政的に苦しいながらも、がんばっていますので、よい取り組みは継続させる方法を、団体、行政ともに考える必要があるのではないのでしょうか？

団体名

ボランティアグループ CAMS 玉川

事業名

食から始まる健康寿命講座（22年度助成事業）

事業概要

- ◆地域住民や福祉関係者対象の学習会を開催し、内科医による講演、栄養士による料理実習、理学療法士による介護予防体操、介護技術指導者による食事介助の実技指導などを行った。
- ◆栄養指導の実施前後に体力測定し、身体機能に及ぼす影響について専門家による評価を行った。

事業の成果

- ☆地域住民と医療・福祉関係者とのつながりをつくり、専門的な見地からの指導をいただくことで、地域住民は「食の大切さ」についての理解を深め、専門職はその立場での援助方法を向上させることができた。
- ☆自分たちが学んだことを他の地域の方に紹介したり、自分たちが得た情報を地域の専門職に報告したりすることができ、玉川地域の高齢者が地域や家庭において、健康で安心して暮らせるための支援活動ができた。

外部講師による講演



料理実習

助成団体から一言

◆うまくいったところ

自分たちの生活スタイルに目を向け、自らの健康寿命を考えていただく活動であったので、自治会単位で開催することにより、参加者と継続的にかわることができた。

◆活動してみて

地域の方たちに健康寿命を延ばし、自分の人生を生き抜いていただくための知識を伝え、特に専門職の方から直接指導いただくことで、理解を深めることができた。更に同じ地域の方と一緒に学ぶことにより情報の共有ができ、会員も新しい情報を得て、その後の活動で知識を生かすことができた。
また、助成事業を受けることのできるグループであるという自信を持って活動することができた。

◆苦労したこと

会員が仕事を持っているため、休日を利用しての活動となったが、地域行事などとの兼ね合いで開催日の調整が大変であった。

◆今後活動する団体へ

自分たちの活動を支援していただけることは、活動に自信が持てます。自分たちの思いを形にしていく活動を一つでも多く経験することで、スキルアップすることができ、自立したグループに成長するきっかけになります。

団 体 名 社会福祉法人 きらりの森

事 業 名 相談支援事業 ピア相談員事業
(23年度助成事業)

事業概要

◆精神障害者が地域で安心して生活できるまちづくりを目指し、障害当事者が学習会等に参加しながら、「ピア相談員」として障害者からの電話相談を受けた。

事業の成果

☆相談者にとっては、同じ立場にある障害者が相談を受けることで、より安心を得られることが期待され、相談を受ける当事者にとっても、支え合う意識や自ら活動に加わろうとする意欲により、自信と誇りを感じることができた。

先進地の視察

(岡山県/地域生活支援センター)
(ぱる・おかやま 外)



視察研修の報告会

助成団体から一言

◆うまくいったところ

参加者、関係機関、行政機関との意見交換や情報共有により、安定した運営が実施できた。
先進地視察に参加したピア相談員からは、新しい気付きや刺激があり、とても充実した研修となったという声をいただくことができた。

◆苦勞したこと

先進地事例を学ぶだけではなく、いかに当事者（ピア相談員）が自由な発想でやりたい活動につなげていけるか、企画の段階で苦勞した。

◆今後活動する団体へ

値打ちのある活動ができます。やりたい活動がある方は是非応募してください。

団体名 NPO法人 JMACS

事業名 遊友学舎の園芸療法士による親子園芸教室
(23年度助成事業)

事業概要

- ◆小学生親子を対象に、季節の植物を取り入れた園芸教室を開催し、心臓病を持っている子どもとその兄弟や家族に作品を届けた。
- ◆心臓病を持っている子どもとその兄弟や家族を対象とした園芸教室も別途開催

事業の成果

- ☆健常な子ども達と病気の子どもの気持ちの交流が図れ、互いを思いやる機会を提供できた。
- ☆病気を持つ子どもやその家族に、普段のいろいろなストレスを少し解消してもらえた。

冬の寄せ植え
(お友達にもプレゼント)



押し花カード作り
(病気を持つ子どもやその家族)

助成団体から一言

◆うまくいったところ

対象者の関連団体と連携したことで、希望を聞きながら実施でき、対象者に実際に役に立つ活動ができた。

◆今後活動する団体へ

やりたい活動を応募して、まずやってみましょう。
そこから新しい展開や予想してなかった効果が得られることもあります。

団 体 名

愛媛県手話サークル連絡協議会

事 業 名

災害時における聴覚障害者を取り巻く環境改善についての研修会
(24年度助成事業)

事業
概要

- ◆災害用のバンダナ、SOSカードを作成し、聴覚障害者等に配付
- ◆災害時の対応をテーマに、組織づくりや事前の準備についての研修会を開催

事業の
成果

- ☆実際にバンダナとSOSカードを手にする事で、ろう者と手話関係者の災害に対する意識改革ができた。
- ☆マスコミに取り上げられたこともあり、バンダナとSOSカードが欲しいという要望が相次ぎ、八幡浜市と消防署共同で改良版SOSカードが作成されるなど、県下にモデルとして波及している。



研修会の様子



災害時用のバンダナ



SOSカード

助成団体から一言

◆うまくいったところ

何かしなければ、と思っていた聴覚障害者の災害対策について、助成金を活用することで具体化できた。また、手話関係者だけでなく、一般県民にも広く知ってもらうことができた。

◆苦労したこと

作成した災害用バンダナの数が足りず、希望されても渡せなかった人がいた。
また、愛媛県下全体に平等に普及させることを考慮しなくてはならなかった。

◆活動してみて

SOSカードは、改良すべき点を見つけられ、翌年により良いものを作成できると思う。
また、行政や消防にもアピールでき、今後広く連携をとり活動を進めていく展望がみえた。

◆今後活動する団体へ

予算がなく活動を躊躇している団体は、まず応募にチャレンジしてみましょう!!

団体名

愛媛県腎臓病患者連絡協議会

事業名

災害時透析医療（24年度助成事業）

事業概要

- ◆県内透析患者約3,600名を対象に、「透析患者のためのハンドブック（災害編）～命を守る災害時の心得～」を発行
- ◆災害時に使用する「安心キットえひめ」（自主財源で作成）とともに、透析患者に配付

事業の成果

- ☆透析患者、病院スタッフの防災意識が高まった。
- ☆患者や施設に対して当会の認知度が上がり、透析関係の医療スタッフとのネットワークができた。
- ☆病院側から、当ハンドブックを活用した勉強会の提案をいただき、25年度の実施につながった。

透析患者のためのハンドブック（災害編）



四国透析者災害支援検討会における内容の検討

助成団体から一言

◆うまくいったところ

県外の透析患者団体の防災への取組みを調査する中で、様々なアドバイスをいただき情報交換のネットワークを作ることができた。

◆大変だったところ

県内の患者会未加入透析施設訪問は、分担がうまくいかず個人に負担をかけた。

◆活動してみて

未加入施設のスタッフから施設の防災の取組みについて話し合うこともできた。また勉強会の提案もいただき、その地域の透析に関する災害対策について今後前向きに進めていく提案もいただいた。

◆今後活動する団体へ

新たな事業をすることで、新しい仲間も増えます。今回の活動で新たに2患者会が設立できました。ドンとチャレンジしてみましょう。

(3) 県直営事業

担当課名

保健福祉部 生きがい推進局 子育て支援課

事業名

えひめ結婚支援センター（仮称）運営事業
（20年度 知事特認）

事業概要

- ◆HPの作成、メルマガ会員の募集・登録、情報配信
- ◆結婚支援イベントを開催する飲食店等を「応援企業」、自社の未婚従業員にイベントを周知し、参加を促す団体を「協賛企業」として募集・登録
- ◆イベント実施後、マッチングした男女の引き合わせや、交際に至った場合の事後フォローを実施
- ◆センターの運営は（社）県法人会連合会に委託し、県は総合支援や研修を共同実施

事業の成果

☆平成20年度は、大規模イベントを2回、小規模イベントを39回実施し、延べ1,302名が参加、172組のカップルが誕生した。

☆基金事業終了の平成21年度以降も、県の少子化対策事業として継続実施しており、「えひめ結婚支援センター」事業の委託先である県法人会連合会をはじめ、企業・団体、無償ボランティアなど関係者の善意と熱意で運営されており、平成23年度にはお見合い事業も開始するなど、結婚を希望する独身者に多くの出会いの場を提供している。

☆平成24年度末までに、イベントとお見合い事業を通じて、4,757組のカップルが誕生し、自主申告分だけで231組から結婚報告がある。

イベント風景



イベント風景

事業概要

- ◆県立高校及び中等教育学校の中から地球温暖化防止推進校を指定した。
- ◆推進校において、生徒・教職員全員が、地球温暖化防止のためのアクションプランの策定・実施、達成状況測定、評価・改善に取り組むことで、温暖化防止を意識した生活スタイルを身に付けた。
- ◆研究成果は校内で発表するほか、生徒による地域・家庭への普及、啓発を図った。

事業の成果

推進校の一つ八幡浜工業高校では

☆「ストップ・ザ・温暖化」講演会を開催し、講演会で得た温暖化防止に関する知識を、アクションプランの実施・改善に役立てるとともに、講演会への参加を保護者等と呼び掛けることで、地域にも普及した。

☆地域の小学校と連携し、小学生を対象とした出前授業と公開授業を実施することで、小学生の環境に関する知識・関心を高めるとともに、生徒の環境保全に取り組む意欲の高揚を図ることができた。

これらの取組みの結果、アクションプランの実施前と比べ、生徒一人当たりの知っているエコの数が増加するとともに、知っているエコのうち実践しているエコの割合も増加するなど、環境教育の地域への普及に努めながら、生徒に温暖化防止を意識した生活スタイルを身に付けさせることができた。

小学校での出前講座
(自転車発電体験)



工業祭での記念講演
(トヨタ自動車㈱環境部・深田氏)

担当課名**保健福祉部 生きがい推進局 障害福祉課****事業名****パーキングパーミット制度推進事業**
(22年度 社会福祉分野)**事業概要**

- ◆身体・知的・精神障害者、要介護認定を受けた高齢者又は難病患者、妊産婦やけが人等で、歩行が困難な方を対象として、県が申請に基づきパーキングパーミット（駐車場利用証）を交付
- ◆身障者用駐車場を設置する自治体や民間企業等へ協力依頼し、協力の申出があった事業所等にステッカー等の資材を送付するとともに、ちらしやポスターにより制度を周知
- ◆制度を実施している先進県の調査や、四国4県連携による制度導入（相互利用）を検討

事業の成果

☆利用証交付件数は合計11,280件、協力施設の登録数は707箇所、駐車場台数は1,747台（平成25年3月末現在）。

☆平成23年2月1日から、同様の制度を導入している四国及び中国地方各県と相互利用を開始した。

また、平成25年3月末現在、愛媛県を含む全国29府県で相互利用が可能となり、その取組みが広がっている。

四国4県知事による
相互利用のPR（H23.6.8）



駐車場の案内表示(左)と利用証(右)

担当課名

県民環境部 環境局 自然保護課

事業名

自然公園エコロジカルふれあい事業
(23年度 環境保全・自然保護分野)

事業概要

- ◆近年、自然公園において、植物の盗掘や踏み荒らし、登山道脇での排泄などが問題となっているため、公園利用に関するマナーアップや携帯トイレの普及を推進
- ◆地形や標高の違いにより様々な動植物の生息・生育が身近に体験できる石鎚山系において、自然環境の保全と利用の両立を図る手段として期待されるエコツーリズムの実施を検討

事業の成果

- ☆自然公園の利用マナー向上のため、マナーガイドを作成・配布した。
- ☆石鎚山クリーンアップ事業として、携帯トイレデーを実施できた。
- ☆石鎚山系でのエコツーリズム推進のための意見交換会を踏まえて、基本方策を作成した。(推進体制の構築、エコツアー商品の造成、エコツアーのための環境整備)
- ☆石鎚山ヒルクライムともタイアップして石鎚山の自然保全をPRできた。



マナーガイド



携帯トイレデー
(山頂でのデモンストレーション)

担当課名

教育委員会 高校教育課

事業名

エコハイスchool推進事業

(24年度 環境保全・自然保護分野)

事業概要

県立高校・中等教育学校の中から指定した6校のうち、

- ◆3校が「環境教育ハイレベル研究推進校」として、環境保全や自然保護等に関するハイレベルな研究・実践を行う、課題発見・解決型の環境教育に取り組んだ。
- ◆3校が「循環型社会づくり実践推進校」として、生徒の「持続可能な社会づくり」に寄与する意欲を増進させるために、地域との連携を軸とした体験活動や啓発活動を重視した実践的な環境教育に取り組んだ。

事業の成果

☆環境教育ハイレベル研究推進校の一つ長浜高校は、長高水族館におけるカクレクマノミの研究で、第56回日本学生科学賞中央審査会学校賞（1校）及び読売理工学院賞（上位11校）を受賞するなど、本県の環境教育の質の高さを証明した。また、長高水族館は、一般公開や幼稚園・小学校からの見学受入れなどによって、地域の環境教育の場として大きな役割を果たすとともに、地域振興にも貢献している。

☆循環型社会づくり実践推進校の一つ大洲農業高校は、同校が取り組むひまわり栽培による炭素の固定や再生可能エネルギーの研究を生かし、小学生を対象とした出前授業や交流活動を実施するなど、地域の環境意識の向上に努めている。

出前授業で紙芝居「地球温暖化とひまわり栽培」
(大洲農業高校)



日本学生科学賞中央審査会学校賞
及び読売理工学院賞を受賞
(長浜高校)

4 実施事業

(1) 実施事業の状況

	件 数	執行額
環境保全・自然保護分野公募事業	106件	47,593,498円
20年度	20件	9,774,378円
21年度	21件	9,591,096円
22年度	21件	9,661,370円
23年度	21件	8,749,455円
24年度	23件	9,817,199円
社会福祉分野公募事業	112件	45,048,115円
20年度	23件	9,649,739円
21年度	26件	9,500,507円
22年度	20件	9,223,864円
23年度	24件	7,756,000円
24年度	19件	8,918,005円
県直営事業	28件	45,517,537円
20年度	5件	9,727,664円
21年度	5件	4,983,687円
22年度	7件	14,159,584円
23年度	5件	7,689,816円
24年度	6件	8,956,786円
環境保護活動顕彰・啓発事業[三浦保環境賞] (20年度～24年度)		25,000,000円
事務関係経費 (20年度～24年度)		319,402円
合 計	246件	163,478,552円

(2) 環境保全・自然保護分野公募事業一覧

事業名	団体名	事業概要	助成年度
地球温暖化防止を推進する活動			
四国からSTOP! 温暖化 ～省エネサミット in えひめ～	ちりつも共和国	○省エネサミットin えひめ (記念講演、パネルディスカッション等) ○農産物・特産品販売、特産品の試食・試飲会 ○えひめA I - 2 無料配布	20年度
地球温暖化対策 パートナーシップ 強化事業	NPO 法人 愛媛県環境保全協会	○地球温暖化防止フォーラム (事例発表、講演) ○他県の温暖化対策の成功事例等を習得しDV D化、報告会での放映	20年度
地球温暖化防止 啓発キャンペーン	みかん一座	幼稚園や保育園、公民館、ショッピングセンター 等でのエココンサートを通じて、温暖化防止の ための6つのアクションを分かりやすくPRし、 循環型社会への取組み(3R)について啓発	20年度
地域温暖化防止対策 脱二酸化炭素社会構築 をめざして	えひめ消費生活 センター友の会	○エコクッキング冊子の作成 ○講習会の実施 ○環境パネルの作製・展示による啓発活動 ○ペレット暖房機の先進地視察	21年度
「グリーン電力 de 運動会!!」事業	NPO 法人 愛媛県環境保全協会	○使用済天ぷら油の回収 ○バイオマスエネルギーを用いた運動会等の学 校行事の実施 ○事例情報交換 など	22年度 ※P10掲載
「登道レトロ」 ～ちよっと昔の 日本から学ぶ3R～	衣サイクル研究会	○「衣類の3R啓発パンフレット」の制作・配 布(新居浜市、松山市) ○衣類回収ボックスの設置と試験回収の実施 ○商店街の空き店舗を活用した「無料のリユ ース着物貸出コーナー」の設置	22年度
環境マネジメントシ ステム「エコステージ」 の普及事業	NPO 法人 エコステーション まつやま	○エコステージ普及イベントの開催	23年度
マイクロ水力発電の 実演展示による普及 啓蒙活動	にいほま環境市民 会議	○公開で木製水車キットの組立て実習 ○移動可能な発電システムの製作 ○各種イベントでの実演展示 ○市内数か所で発電実験	24年度 ※P13掲載
環境学習を推進する活動			
マイ箸グルメマップ (増刷)	マイ箸ひろめ隊♪	マイ箸普及のため、「マイ箸グルメマップ」を 増刷・配布し、掲載店でマイ箸を使ってシール を集めると、抽選でプレゼントが当たるキャン ペーンを実施	20年度
上林ひまわりプロジェクト ～一人一本から運動～	上林を考える会	○「ひまわり一人一本から運動」の実施 ○小学校多世代交流イベント、環境イベントの 実施 ○上林ひまわり油の製造 ○BDFを用いたクリスマスイルミネーション	20年度 ※P6掲載

事業名	団体名	事業概要	助成年度
上林ひまわりプロジェクト &上林エコFOODフェア	上林を考える会	○ひまわりの栽培と「上林エコサラ油」の作成 ○松山工業高校と共同でBDFエコカート製作 ○環境学習イベント、エコフードフェアの開催 ○BDFクリスマスイルミネーションの開催	21年度
春の自然と遊ぼう・ 夏の自然と遊ぼう・ 秋の自然と遊ぼう	宇和島ネイチャー ゲームの会	○小学生とその保護者を対象としたネイチャー ゲームの実施 ○野生生物の痕跡を見つける自然観察会の実施	21年度
東予の千枚田を活用した 自然観察・環境学習	NPO 法人 西条加茂蕎麦くらぶ	○高地棚田の保全 ○食育として耕作放棄地を活用した蕎麦作り ○田んぼを活用した自然観察会の実施（5回）	21年度
えひめのリサイクル製品 等普及啓発事業	愛媛県資源循環優良 事業者連絡協議会 (Re-えひめ)	○地域や学校等で開催される環境学習活動に講 師派遣 ○協議会独自のHPを開設し、3R活動やリサ イクル製品等の情報を発信	21年度
マイ箸グルメマップ発行 及びそれに付随する環境 活動	マイ箸ひろめ隊♪	○「マイ箸グルメマップ」の発行・普及活動 ○マップ発行から派生するイベントやワーク ショップの実施 ○内モンゴル植林体験の講演会の開催	21年度
夏・秋・春の自然と遊ぼう 水辺の生き物観察会・里 山けもの道ピクニック	宇和島ネイチャー ゲームの会	小学生と保護者を対象に自然体験活動を実施 ○ネイチャーゲーム活動 ○水辺や里山の動植物観察会	22年度
東予の千枚田を活用した 自然観察・環境学習 パートⅡ	NPO 法人 西条加茂蕎麦くらぶ	○県内の小学生親子を対象とした棚田の自然観 察会 ○子ども達と地域住民の参加によるミニフォー ラムの開催	22年度
えひめの3R活動 普及啓発事業	愛媛県資源循環優良 事業者連絡協議会 (Re-えひめ)	○協議会のHP（21年度開設）を利用した優良 リサイクル製品・環境イベント等の情報発信 ○地域や学校等で開催される環境学習活動への 講師派遣	22年度
えひめの3R活動 情報発信等普及・啓発 事業	愛媛県資源循環優良 事業者連絡協議会 (Re-えひめ)	○協議会HPにツイッターを導入し情報発信 ○愛媛大学との交流会の開催 ○3R学習活動等の実施	23年度
お堀の水のCODの測定 及び浄化実験体験入学 (中学生招待による 「水の分析」)	愛媛県立 松山工業高等学校 工業化学同好会	○お堀の水の採取、COD測定 ○PVA樹脂を用いたお堀の水の浄化実験 ○松山近郊の中学生を対象とした体験入学の実 施（水の分析等）	23年度
有機農法での 生姜栽培による 耕作放棄地活用の 実践的活動	学生自然農業 チャレンジの会	中島の耕作放棄地を開墾し、無農薬・無化学肥 料での生姜生産・販売を通じ、有機農法の技術・ 経営を学ぶとともに、その拡大を阻む要因等を 調査	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
子どもと一緒に森に出かけましょう	子どもたちに明るい未来をNET	○故星野道夫氏パネル展 ○星野道夫氏夫人・道子さんの講演会 ○郷土の写真家・松本紀生氏スライド上映会 ○自然観察会 ○朗読コンサート	23年度
えひめの3R 魅力発信・活用事業	愛媛県資源循環優良事業者連絡協議会(Re-えひめ)	○HP、ツイッター、フェイスブックを活用した3R活動の情報発信 ○愛媛大学との意見交換、検討会の開催 ○県内各地の環境学習活動に講師派遣	24年度
地域密着型こどもエコクラブでの環境人材育成事業～こどもソーシャルビジネス起業体験～	衣サイクル研究会	親子を対象とした愛媛県産ひのきの積み木や漂着物アート等、地域資源を生かした商品開発を行うソーシャルビジネスを疑似体験してもらう。	24年度
お堀の水のCODの測定及び浄化実験体験入学(中学生招待による「水の分析」)	愛媛県立松山工業高等学校工業化学同好会	○お堀の水のCOD測定 ○松山市近郊で大気中の窒素酸化物を測定 ○中学生対象の体験入学の実施(水の分析や化学実験)	24年度
子どもと一緒に森に出かけましょう	子どもたちに明るい未来をNET	○自然と音研究家による演奏会開催 ○演奏や朗読会を組み合わせた自然観察会実施 など	24年度
しまなみ海道「ちゃりんこの冒険」	あそびじゅく トムソーヤ	新居浜市の小学生を対象として、今治から尾道まで片道約80kmを自転車で往復(福山少年自然の家で1泊、2日目に自然観察会を実施)	24年度
図鑑「松前町の水生生物」	愛媛県立伊予高等学校科学部	松前町のきれいな水路に生息する淡水魚、貝類、両生類、水草等の生物の生息状況についてまとめた図鑑を作成し、教材として使用するほか、町内の関係機関や小中学校に配布	24年度 ※P14掲載
生活環境を保全する活動			
キャップで愛を届けよう事業	松山大学学生地域創造研究所 Muse(ミューズ)	○ペットボトルキャップ回収BOXを大学、公共施設などに20個設置 ○キャップを「エコキャップ推進委員会」に送付し、発展途上国にポリオワクチンを提供	20年度
「空飛ぶ車いす」活動(使用済車いすの修理再生活動)	愛媛県立新居浜工業高等学校VYS部	○使われなくなった車いすの修理・再生と、県内の福祉施設や病院、海外の福祉団体への寄贈(約130台回収、95台寄贈) ○訪問修理、持込み車いすの調整(約15台)	22年度
家庭用生ごみ自家処理の全市的普及活動	にいはま環境市民会議	木箱入りのダンボールコンポスター、発酵促進剤(えひめAI-2、米ぬか)、温度計、スコップ、堆肥化マニュアルをセットにし、各家庭に配付(配付個数110個)	22年度
地球にやさしい“循環型”の地域美化活動	泉川まちづくり協議会	○校区内ゴミ拾い等の環境美化活動 ○種子から育てる花いっぱい運動 ○国道バイパス中央分離帯への森づくり ○コンポストによる生ゴミの堆肥化 ○剪定くずから腐葉土づくり	24年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
自然環境を保全し、または活用する活動			
今治市と今治市周辺部における自然環境調査と野生生物の保護活動	NPO 法人 愛媛生態系保全管理	○野生生物現地調査の実施 ○保護先進地視察 ○希少生物実態調査報告書の作成 ○自然観察会の実施	20年度
野村町の動植物相調査と自然環境ふれあい活動	むらの新資源研究会・山奥組	○十文田の森とその周辺の小動物生息調査 ○桂川流域の植生調査 ○小中学生や会員に参加を呼びかけ、自然保護や環境保全の学習の場とする	20年度
千丈川水辺のにぎわい体験隊	NPO 法人 かわうそ復活プロジェクト	○専門家と一緒に千丈川の生きものを調査し、ノウハウを取得 ○簡易な魚類図鑑や水生昆虫の識別表を作成 ○河口域で観察会を実施し、環境意識を啓発	20年度 ※ P5掲載
小川の森整備事業	NPO 法人 いよ環境センター	○水路を維持管理し、野生動植物を保護 ○広場と花畑を整備し、樹木と草花を植栽 ○植樹祭の開催による環境教育	20年度
相子の浜ビーチクリーニング	ごご島、里山づくりグループ	○愛媛大学の学生など約60名による相子ヶ浜の清掃活動（夏季3回実施） ○栗田愛媛大学准教授の指導で、島の生徒と一緒に海辺の植物の保護活動について勉強	20年度
森のようちえん	松山こども夢ひろば	○松山総合公園で、幼児や保護者を対象とした「森のようちえん」を実施（5回） ○先駆的な取り組みの見学（キープ 森のようちえん、愛知 自然ようちえん）	20年度
愛媛県における夜行性鳥類の分布調査	日本野鳥の会 愛媛県支部	愛媛県で繁殖する夜行性鳥類（ミゾゴイ、フクロウ類）の生息調査を行って分布状況を明らかにし、今後の保全策策定の基礎資料を整備	20年度
「親子自然ふれあい図鑑（仮称）」作成事業	NPO 法人 自然環境教育えことのは	乳幼児の保護者向けに、愛媛県の身近な野生動植物を紹介し、保全の視点を分かりやすく解説する野外携帯用小冊子「小さな子どものための『野ともだち』図鑑」を作成	20年度
石鎚山系の優れた自然紹介・利用促進事業	山のボランティア Network	親子自然ふれあい・観察会の開催 第1回 面河溪（9名） 第2回 瓶ヶ森（8名） 第3回 瓶ヶ森（42名） 第4回 成就の雪山と霧氷（62名）	20年度
平成20年度「御五神島・無人島体験事業」9泊10日	NPO 法人 えひめ子どもチャレンジ支援機構	県内の小中学生を対象とした、「自然に親しむ」「自然を守る」「自然を育む」ことの楽しさや大切さを学ぶ体験活動（ネイチャーゲーム、シュノーケリング、漂着物調査・海岸清掃、漂着物のオブジェ作り）	20年度
【夢の森】つくりと“自然・人・暮らし”の環境つくり	NPO 法人 自然と共に生きる会	○表川・窪の泉の水質・水生生物調査 ○愛媛大学環境ESDによる交流会の実施 ○小学生や地域住民による植樹祭、観察学習 ○河川環境美化活動 ○幼稚園児と自然資材の遊び道具作り	20年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
自然環境の浄化などに関する事業・緑化推進事業・青少年育成事業	NPO 法人 グリーンキャンドゥ	○県指定景勝地「法王ヶ原」の松林の維持保全 ○隣接する松原海水浴場の自然環境浄化 ○緑の少年団と上島町木ウバメガシの植込作業	20年度
ホタル養殖並びに自然保護への啓発	伊予中山ホタル保存会	○ホタル養殖に意欲的な団体への指導 ○埼玉県東武動物公園内ホタリウムの現地視察 ○自然保護に関するパネル作成 ○老朽化した養殖施設のリニューアル	20年度
広見川流域の自然環境保護事業	広見川夢の会	○自然環境保全に関する講演会の開催 ○ネイチャーダムづくりのための落葉樹（ケヤキ苗）の植林 ○「広見川上り駅伝大会」の実施 ○えひめA I - 1 と 2 の積極的推進	20年度
東予地区における自然環境調査と野生生物の保護活動	NPO 法人 愛媛生態系保全管理	○特に保護対策を必要とする野生生物現地調査 ○県外の保護先進地視察 ○希少生物実態調査報告書の作成 ○自然観察会、自然に対する講話会の実施	21年度
八西地区魚図鑑作成	NPO 法人 かわうそ復活プロジェクト	○八幡浜市の八西地区を流れる千丈川や宮内川で魚類調査を実施し、図鑑を作成 ○図鑑を関係団体、近隣の図書館、小中学校等に配布	21年度
自然環境の浄化などに関する事業・緑化推進事業・青少年育成事業	NPO 法人 グリーンキャンドゥ	○県指定景勝地「法王ヶ原」に黒松の苗木100本を植樹 ○地域住民とともに松原海岸の清掃	21年度
【冒険夢の森】つくりと、地域の健全な自然・人・暮らしの環境づくり	NPO 法人 自然と共に生きる会	○夢の森昆虫図鑑・東温市お魚図鑑の作成 ○自主・自立少年活動隊育成 ○小学校での資源保全活用 + a 交流会 など	21年度
広見川流域の自然環境・保全活用事業	広見川夢の会	○自然環境保全に関する講演会の開催 ○ネイチャーダムづくりのための落葉樹（ケヤキ苗）の植林 ○「広見川上り駅伝大会」の実施 など	21年度
身近な自然を活用！ 幼児自然体験活動の場づくり 「森のようちえん」	松山こども夢ひろば	○「森のようちえん」のフィールド整備 ○「森のようちえん」の実践を通じた内容の充実と普及	21年度
野村町の動植物相調査と自然環境ふれあい活動	むらの新資源研究会・山奥組	○自然林「十文田の森」の動物相調査 ○清流桂川流域の植生調査 ○小・中学校での自然環境教室開催	21年度
安全・適正な自然とのふれあいの指導	山のボランティア Network	○ヒメホタルの生態観察 ○自然との正しいふれあい方を学ぶ体験学習 ○四国水源の石鎚山系での自然観察会実施	21年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
「国蝶・オオムラサキの里」再生事業	NPO 法人 愛媛昆虫類調査研究機構	絶滅危惧種オオムラサキの県内の分布・生息環境状況を改めて調査し、種としても存続がどの程度危機的状況にあるかを解明するとともに、保全策を策定	21年度 ※ P7掲載
西日本タンポポ調査 2010愛媛県	愛媛植物研究会	西日本18府県で実施するタンポポ調査の一環として、県民、教育団体、自然保護団体とともに県内のタンポポの分布調査を行い、外来種の拡大状況、未確定の在来種の分布等を把握	21年度
コウノトリ・ツルと共生する山田を考える事業	コウノトリ・ツルと共生する山田の会	○野鳥の生態等の地元学習会の開催（3回） ○ツルの先進地見学研修の実施（2回） ○ナベヅル・コウノトリ保護のための看板製作 ○冬季水張り水田でコウノトリへの餌やり	21年度
「佐田岬半島の虫」図鑑制作・配布と「虫の知らせ観察会」開催	さんきら自然塾	○塾生たちが撮影した佐田岬半島の昆虫の写真を活用したポスタータイプの図鑑作成 ○図鑑を教材に、虫たちを自然界の語り部とした「虫の知らせ観察会」の開催	21年度
巣箱作りとブッポウソウの巣箱架け	やませみ22	県レッドデータブックで絶滅危惧ⅠB類に指定されているブッポウソウの保全の普及を図るため、大洲市や近隣の小学校の協力を得て、巣箱32個を作成、設置	21年度 ※ P8掲載
上島町で身近に観察できる野鳥、渡り鳥の観察図鑑等の作成と自然保護活動事業	弓削野鳥の会	○上島町の野鳥観察図鑑（CD-ROM）の作成、県内小中学校等への配布 ○野鳥写真展の開催 ○他団体との交流 など	21年度
雨包山 パンフレット作成事業	遊子川地区 愛護班連絡協議会	○雨包山に自生する植物のパンフレット「野の花物語」の作成・配布 ○パンフレットを利用した自然観察会の実施	21年度
八西地区河川における魚類生息調査（中上流への調査拡張）と魚図鑑のインターネット化	NPO 法人 かわうそ復活プロジェクト	○千丈川、喜木川、宮内川の中・上流域への調査区域拡張 ○魚図鑑（21年度作成）のインターネット版の作成、提供	22年度
【冒険夢の森】つくりと、地域の健全な自然・人・暮らしの環境つくり 自然環境保護事業	NPO 法人 自然と共に生きる会	○冒険の森と周辺の自然環境保全維持管理 ○地域の青少年による植樹活動と動植物調査 ○地産資材工作+エコライフ学習 など	22年度
「絶滅が危惧される昆虫類」の保護活動実施事業	NPO 法人 愛媛昆虫類調査研究機構	愛媛新聞に3年間連載した、絶滅危惧昆虫類等に関する啓発記事をまとめた冊子の作成と、県内の中学校への配布	22年度
西日本タンポポ調査 2010愛媛県	愛媛植物研究会	西日本19府県で実施するタンポポ調査の一環として、一般県民にも参加を呼び掛けて、県内におけるタンポポの詳細な分布調査を実施し、在来種・外来種の現状を把握（参加者500名以上）	22年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
宇和盆地の生物調査と「宇和の自然図鑑」制作・活用観察会	さんきら自然塾	○過去12年間に宇和盆地全域で撮影した写真をベースに、ポスタータイプの図鑑を作成 ○図鑑の配布を兼ねて、「水辺湿地生物観察会」やスライド上映環境講座を開催	22年度
ブッポウソウの巣箱の利用状況の観察会と調査	やませみ22	○21年度に設置した巣箱の初期メンテナンス ○巣箱を設置した小学校による巣箱の利用状況調査や周辺の生物観察	22年度
絶滅危惧種ウラナミジャノメの保護及び松山市野外活動センターを利用した自然体験メニューの提供	愛蝶会	○蝶類モニタリング調査 ○親子昆虫採集教室やオオムラサキの観察会等の自然体験メニューの提供	22年度
石鎚携帯トイレ普及啓発キャンペーン	石鎚山トイレ問題検討委員会	○登山者への携帯トイレ配布と回収 ○既存のトイレ封鎖と携帯トイレ用簡易ブースの設置 ○登山者へのアンケート調査 ○携帯トイレのデモンストレーション	22年度
コウノトリ野生復帰助っ人大作戦	宇和コウノトリ保存会	○豊岡市でのコウノトリ未来・国際会議への出席 ○人口巣塔の建立（5基） ○冬季湛水、観察小屋の設置 など	22年度
石鎚森の学校2011☆冬☆氷点下の雪の森で	NPO 法人 石鎚森の学校	成就地区で1泊2日の体験活動（雪遊び、自然観察、冬山登山、星空観察、氷結実験等）	22年度
愛媛大学山岳会竜神平小屋改修工事	愛媛大学山岳会	築後50年間を経過し、老朽化した皿ヶ嶺竜神平小屋の改修工事（屋根の葺き替え、床の張り替え等）の実施（ボランティア延べ140名参加）	22年度
西条水生昆虫図鑑作成事業	西条自然学校	○カワゲラ、カゲロウ、トビケラの写真・イラスト入りハンドブックの作成 ○作成した図鑑を行政機関や県下で自然観察会を開催する団体に配布	22年度 ※ P9掲載
稲穂の里プロジェクト	済美平成 稲穂の里プロジェクト 実行委員会	○棚田での米づくり体験 ○講演会と水田の環境調査 ○HPや各種学校行事を利用した活動報告と啓発活動	22年度
守る！伝える！つながる！ ための高縄山癒しの森 プロジェクト	Yサークル	○フィールドパトロール及び自然環境調査 ○登山道整備、草刈等の作業ワークショップ ○高縄山の魅力を広く発信する音楽イベント	22年度
南予の鳥類図鑑作成	NPO 法人 かわうそ復活 プロジェクト	○会員がデータベース化した鳥類観察記録の整理 ○鳥類の図鑑作成と施設や学校への配布	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
自然環境保全情報の蓄積・共有化事業	NPO 法人 愛媛昆虫類調査研究機構	収蔵標本の記録・分析と公的機関への寄託	23年度
佐田岬半島の「緑の回廊」保全プロジェクト2011	さんきら自然塾	○半島初の本格的な全植物リスト図鑑の作成 ○自然観察会やスライド上映会での図鑑配布 ○八西地区の学校・公民館・図書館への図鑑配布	23年度
ブッポウソウの巣箱の増設と利用状況の観察会と調査	やませみ22	○西予市や大洲市の小学校と協力し、巣箱を作成・設置 ○既設の巣箱のメンテナンスと利用状況調査	23年度
松山市野外活動センターを利用した自然体験メニューの提供	愛蝶会	○蝶類モニタリング調査 ○自然体験メニューの提供（昆虫採集・標本作り、観察会、専門家による講演会等）	23年度
稲穂の里プロジェクト	済美平成 稲穂の里プロジェクト 実行委員会	○里山での米づくり体験 ○水田の環境調査 ○文化祭やHPを通じた成果の周知 ○里山句会ライブ など	23年度
守る！伝える！つながる！ ための高縄山癒しの森 プロジェクト	Yサークル	○フィールドパトロール、自然環境調査、案内マップ作成 ○登山道整備等の作業ワークショップ ○自然観察会の実施	23年度
滑床ファミリー アドベンチャー	NPO 法人 松野まちづくり 青年会議	1泊2日のアウトドア体験イベント (テント設営、木登り教室、自然観察会、料理教室等)	23年度
和気浜公園整備公共 工事に伴う希少野生 動植物保全啓発活動	愛媛県立 伊予農業高等学校 伊予農希少植物群 保全プロジェクト チーム	○湿地に生息する希少動植物の保全ゾーンへの移植・移入 ○移植後のモニタリング調査・環境整備活動 ○小学校や公民館への啓発ポスター配布 など	23年度 ※P11掲載
ホタルの里からエコ活動 ～放置竹林の竹の有効 利用へ向けた取組～	愛媛県立 中山高等学校 農業クラブ	○放置竹林調査と竹林マップ作成 ○竹堆肥の製造と作物の試験栽培 など	23年度
国際森林年・森の自然 観察会	えひめ千年の森を つくる会	○雑木林・遊歩道整備 ○川内千年の森での自然観察会の実施 ○自然観察マップ作成	23年度
自然環境保全事業	大三島の自然を 守る会	○野生生物の観察・現地調査 ○保護先進地の視察 ○自然観察会の実施	23年度
ゴミ投棄防止及び回収 活動と環境美化・保全 活動とその啓発活動	諏訪崎を愛する会	○諏訪崎中心に海浜のゴミ調査・回収活動 ○写真展示による啓発活動 ○諏訪崎の自然図鑑作成 など	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
堂ヶ谷トンボの里 エコアップ作戦	堂ヶ谷 トンボの里を しらべる会	○堂ヶ谷トンボの里の再整備 （石積の崩れや陥没箇所の修復、漏水箇所の 修繕、木製橋の架け替え） ○再整備後の観察会開催	23年度
子どもと親の そばづくり体験ファーム	プロジェクト 地球っ子ひろば	新居浜市の耕作放棄地で、親子を対象としたそ ばの栽培・加工体験、自然体験ゲームの実施	23年度 ※P12掲載
花と緑のまちづくり事業	森の国 さくらの会	○花と緑のまちづくり等に関する講演会 ○樹木の管理作業等の実習的な研修会 ○植樹研修会 ○桜の名所等の除草作業や樹木管理活動	23年度
南予の鳥類図鑑の インターネット化	NPO 法人 かわうそ復活 プロジェクト	昨年度作成した「南予の鳥の図鑑」の内容拡充、 インターネットから閲覧できる環境整備	24年度
自然環境保全情報の 蓄積・共有化事業（Ⅱ）	NPO 法人 愛媛昆虫類調査研究 機構	○貴重な蝶の収蔵標本の記録・分析 ○分析結果の報告書作成	24年度
西伊予圏の ＜蝶類＞保全 プロジェクト2012	さんきら自然塾	○佐田岬半島～肱川水系を中心に蝶の調査 ○調査結果を基に図鑑を作成 ○図鑑を教材とした野外観察会や屋内環境講座 の開催	24年度
南予の渡り鳥の休憩場 の創造実験	やませみ22	大洲市内の休耕田を湛水して渡り鳥の休憩場を 提供し、飛来するシギ、チドリの仲間を観察・ 記録	24年度
源流広見川地域の 自然環境・保全活動	広見川夢の会	○自然環境保全に関する講演会の開催 ○ネイチャーダムづくりのための広葉樹植林 ○「源流広見川上り駅伝大会」の開催 ○えひめA I - 1・2の推進 など	24年度
千町の棚田を活用した 子供と親のそばづくり 体験	NPO 法人 西条加茂蕎麦くらぶ	○県内在住の幼稚園児以上の子どもと親を対象 として、耕作放棄地を復活させた棚田でそば の栽培・加工体験 ○作業の前に自然観察・観察学習を実施	24年度
松山市野外活動センター を利用した自然体験 メニューの提供	愛蝶会	○蝶類モニタリング調査 ○絶滅危惧種ウラナミジャノメの保護増殖 ○昆虫採集、夜間活動性昆虫の観察会、アサギ マダラのマーキング調査等の自然体験メ ニューの提供	24年度
守る！伝える！つながる！ ための高縄山癒しの森 プロジェクト	Yサークル	○希少植物の盗掘を防ぐフィールドパトロール ○登山道整備、草刈、看板設置等 ○森のようちえん、クリーンウォークの実施	24年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
西条市湧水地 生きもの調査事業	NPO 法人 西条自然学校	○西条市の湧水地の位置やそこに生息する生物 についての調査 ○報告書の作成 ○イベント等で写真パネルやポスターを利用し て市民へ周知	24年度
自然環境保全事業	大三島の自然を 守る会	○野生生物の観察・現地調査、保護活動 ○地域住民等と協働したビーチクリーン活動や 自然観察会実施 ○塩生植物チャボイの保護・広報用の看板設置	24年度
子どもと親のおこめ づくり体験ファーム	プロジェクト 地球っ子ひろば	新居浜市内の耕作放棄地を復活させた里地で、 親子を対象とした自然体験を実施（米作り・加 工、有害鳥獣対策柵作り、自然体験ゲームなど）	24年度
花と緑のまちづくり事業	森の国さくらの会	○花と緑のまちづくり等に関する講演会 ○樹木の管理作業等の実習的な研修会 ○植樹研修会 ○桜の名所等の除草作業や樹木管理活動 ○花と緑の名所パンフレット作成	24年度
地域活性化づくり事業	明間福祉 ボランティアの会	耕作放棄地を活用し、保育園児や小学生を対象 とした野菜や米作り等を実施	24年度
自然環境保全 (生態系保全)	伊賀上ロマンの里 作りの会	○放棄水田の整備、ビオトープ化 ○自然の動植物と住民の憩いの場作り ○誘水路の整備、魚道作り など	24年度
第二回金生川 フォトコンテスト	金生川ラバーズ	四国中央市内外の住民を対象として、金生川流 域の四季折々の情景や、川と人との交わりを撮 影した写真を募集し、入賞作品の表彰式及び展 示を実施	24年度

(3) 社会福祉分野公募事業一覧

○特別枠（広域での事業展開を行う団体への助成）

事業名	団体名	事業概要	助成年度
高齢者や障害者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業			
障害のある人の 芸術活動支援事業	NPO 法人 アトリエ素心居	○障害者の陶芸・絵画制作支援、音楽ムーブメント開催支援、和太鼓演奏活動支援 ○制作した陶芸・絵画の展示・紹介	20年度
障がい者就労支援用 eラーニングコンテンツ 作成とスクーリングの 実施	NPO 法人 ぶうしすてむ	○外出困難な障害者を主な対象としたeラーニングコンテンツの作成 ○eラーニングによる在宅就労に向けた研修の実施	20年度
新商品「豆腐工房」 実施をめざす豆腐製造・ 販売促進研修事業	NPO 法人 結の会	豆腐生産を行うに当たり ○障害者労働センター・結の職員、支援者、関係者が集まり、セミナー開催 ○豆腐の試食会と現地研修の実施	20年度
認知症の支援シートの 活用及び生活移行 システムの構築に向けた 研究と技術提供	一般社団法人 愛媛県作業療法士会	○公開講座「みんなで作る・認知症ケア支援の輪」の開催（320名参加） ○認知症の支援システムの研究 ○事業所、団体等への作業療法士の派遣	21年度
「愛ある介護を目指して」	一般社団法人 愛媛県介護福祉士会	○介護の日（11月11日）に介護のイメージアップを図る講演会、公開講座を開催 ○小・中学生を対象とした介護体験教室の開催（東・中・南予3地区）	21年度
病院近くのわが家 プロジェクト	NPO 法人 ラ・ファミリエ	○「病院近くのわが家」認知向上のためのパンフレットやカレンダーの作成 ○チャリティーコンサートと絵画展の開催 ○子育てサロンや相談サロンの開催 ○HPの修正	22年度
認知症の啓発と支援 ネットワークの構築	一般社団法人 愛媛県作業療法士会	県内の認知症に関する事業や組織に作業療法士を派遣し、認知症の理解促進や予防に関する資料・情報を提供するほか、具体的なケアへの助言・提案を実施	22年度
「支え愛のある介護 福祉を目指して」	一般社団法人 愛媛県介護福祉士会	○災害時要援者支援をテーマとした記念講演と公開シンポジウムの開催 ○小・中学生を対象とした介護体験教室の開催（東・中・南予3地区）	22年度
高次脳機能障害の啓発 と支援ネットワークの 構築	一般社団法人 愛媛県作業療法士会	○高次脳機能障害に関わる医療従事者及び一般市民を対象とした学習会の実施 ○家族会等への作業療法士の派遣	23年度
思い合い・支え愛 ～自分の想いを 形にしよう～	一般社団法人 愛媛県介護福祉士会	○「思い合い・支え愛～自分の想いを形にしよう～」をテーマとした講演会・災害ボランティア活動報告等の実施 ○小・中学生を対象とした介護体験教室の開催（東・中・南予3地区）	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
高次脳機能障害の啓発と支援ネットワークの構築	一般社団法人 愛媛県作業療法士会	○医療従事者のスキルアップ研修の実施 ○一般市民を対象とした学習会の実施 ○高次脳機能障害支援先進地の視察	24年度
『介護をもっと身近に感じよう』	一般社団法人 愛媛県介護福祉士会	○現場の雰囲気を伝え、イメージアップを図るユニフォームコンテストの開催 ○小・中学生対象の介護体験教室の開催（東・中・南予3地区）	24年度
えひめ福祉用具フェア	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会	○日常生活用品、福祉用具等の最新の展示 ○医療・保健・福祉の連携を図る関連イベント ○各種相談コーナー ○障害者事業所バザー など	24年度
子育て支援に関する事業			
乳幼児親子のための子育て講座	NPO法人 子育てネットワーク えひめ	○子育て支援者養成講座の実施 ○カナダの親支援プログラム「ノーバディパーフェクト」ファシリテーターの資格取得と、親向けのノーバディパーフェクト講座の実施	21年度 ※P17掲載
子育て支援施設に関する調査事業	NPO法人 子育てネットワーク えひめ	○愛媛県の子育て支援に関する調査の実施（施設規模、運営方針等） ○愛顔のサポーターブック「すまいる」の作成（相談の多い事項への対応をまとめたマニュアル）	24年度
地域福祉活動に関する事業			
「権利擁護啓発劇団『あど坊』公演」による消費者被害防止啓発活動	一般社団法人 愛媛県社会福祉士会	劇団「あど坊」による「高齢者虐待」等のロールプレイと福祉無料相談会の開催（開催回数10回、延べ1,200名参加）	20年度
「権利擁護啓発劇団『あど坊』公演」による消費者被害防止啓発活動	一般社団法人 愛媛県社会福祉士会	○劇団「あど坊」による寸劇（高齢者虐待、消費者被害等）（開催回数6回、延べ800名参加） ○専門的な講義、無料相談会の開催 ○寸劇を撮影したビデオを関係機関に配布	21年度
地域福祉・愛媛版 私たちが地域で暮らしていくために本当に必要なものは何かを見つける事業	縁側プロジェクト	「第14回全国宅老所・グループホーム研究交流フォーラムinえひめ」の開催を機に、愛媛発の分科会を設置・運営し、フォーラム終了後も企画会議を継続	22年度 ※P19掲載
その他の社会福祉の向上に関する事業			
犯罪被害者への支援を通じた治安の回復に向けた県民活動の推進	NPO法人 被害者こころの支援 センターえひめ	○県民フォーラム（映画上映、トークショー） ○5つの高校で被害者遺族による「命の授業」の実施 ○市町担当者を対象にした「被害者支援出前講座」開催	20年度
成年後見制度施行10周年シンポジウム「権利擁護と成年後見制度～誰もが利用できる制度をめざして～」	公益社団法人 成年後見センター・ リーガルサポート えひめ支部	○講演会「市民後見の意義と展望」の開催 ○パネルディスカッション「成年後見制度の現状と課題」	22年度

○一般枠（小規模団体への助成）

事業名	団体名	事業概要	助成年度
高齢者や障害者に対する福祉サービスや支援活動に関する事業			
媛っこすくすく 愛キャンプ2008	NPO法人 ラ・ファミリエ	病気療養中や障害を持つ子どもとその家族を招き、愛南町山出憩いの里温泉で2泊3日のキャンプを実施、子どもとボランティアがペアになって様々な野外活動に参加	20年度
親子療育デイキャンプ	愛媛県自閉症協会	会員42名、専門家4名、ボランティア32名が、宇和島市吉田町ふれあい運動公園において、プール活動と専門家を招いた勉強会を実施	20年度
重症心身障害児(者) 在宅支援研修会	愛媛県重症心身障害児(者)を守る会	専門分野の講師（医師、訪問看護師、理学療法士、歯科医師、研究者等）による研修会の開催	20年度
認知症サポート 支援事業	社会福祉法人 久万高原町 社会福祉協議会	○子どもたちの認知症理解のための絵本教室開催 ○認知症サポーター養成講座開催 ○認知症高齢者支援先進地（福岡県大牟田市）で視察研修	20年度 ※P15掲載
認知症の人やその家族 を支援するための システムの開発	一般社団法人 愛媛県作業療法士会	○学習会の開催 （講師 グループホームだんだん 小林厚子氏） ○事例の情報収集、分析 ○事例集作成、事業所等（800か所）への配布	20年度
小児リハビリテーション ガイドマップ作成	公益社団法人 愛媛県理学療法士会	○関係施設に対して障害児リハビリテーション実施に関するアンケートを実施 ○アンケート結果を基にガイドマップを作成し、障害児施設や治療機関に配布	20年度
ふれあいコンサート	手話学習会 火曜会	○聴覚障害者と健常者が企画段階からともに準備し、コンサートを開催 ○近隣の小学校の手話クラブも参加し、小学生同士で直接交流	20年度
「人工内耳の日」 フェスタ・会報発行・ 「人工内耳」説明・ 相談会	人工内耳友の会 「愛媛」〈友愛〉	○「人工内耳の日」フェスタの開催（記念講演、スポーツ交流会、会員相互の情報交換） ○会報発行 ○専門医による講演と相談会の開催	20年度
県内発達障害 支援ネットワーク 構築事業	ダンボクラブ （愛媛県高機能自閉症・ アスペルガー症候群 親の会）	○「JDDネット愛媛」の発足 ○講演会・シンポジウムの開催 ○各種研修会への参加	20年度
オストメイト（人工肛門・ 人工膀胱造設者）の 個別相談会及び研修事業	公益社団法人 日本オストミー協会 愛媛県支部えひめ 互療会	○講演会の開催「オストメイトとして生きる知識と知恵の共有～輪になって語る」 （講師 神戸大学大学院 田村由美氏）	20年度
ダウン症児(者)の ダンスレッスン＆ ダンスライブ	日本ダウン症協会 愛媛支部	○ダウン症児(者)のダンスレッスン （毎月2～4回） ○砥部町文化会館でJOYPOPダンスライブ開催	20年度 ※P16掲載

事業名	団体名	事業概要	助成年度
地域リハビリテーション講習会	ボランティアグループ CAMS玉川	○地域の高齢者を対象に筋力・体力測定 ○理学療法士による講義・実技指導と自宅でできる予防体操の資料配布 ○介護予防に関する相談	20年度
排泄ケア啓蒙活動事業	えひめ排泄ケア研究会	○H P の立ち上げと平成20年度に作成したマニュアルの情報提供 ○先進的排泄ケア指導者による学術講演会の開催 ○地区別勉強会の開催	21年度
ダウン症児(者)のダンスレッスン&JDS四国ブロック大会in愛媛	日本ダウン症協会 愛媛支部	○ダウン症児(者)のためのダンスレッスン(毎月2～4回) ○JDS四国ブロック大会in愛媛でのダンスライブ実施(8月30日、愛媛県身障者センター)	21年度
口から始まる健康寿命講座	ボランティアグループ CAMS玉川	○歯科医師、内科医師、理学療法士、歯科衛生士による口腔ケアの講演と実技指導 ○介護予防講座での会員による啓発活動 ○口腔ケアの身体機能への影響評価	21年度
障害者(児)自立支援事業	NPO 障害者(児)自立支援たんぽぽの会	○保護者ボランティアによる在宅障害者の自立支援 ○障害者のショートステイ	21年度
高知県ソフトボールチームとの交流試合	NPO 法人 明実	○高知県ソフトボールチームの指導者、保護者との情報交換及び親睦会 ○高知県ソフトボールチーム(知的障害)との交流練習試合	21年度
お試しレンタル用福祉機器の購入	NPO 法人 ぶちすてっぷ	福祉機器の購入と安価でのレンタル ○コミュニケーション促進のための製品 ○時間の概念を分かりやすく示す製品 ○過ごしやすい環境設定のための製品	21年度
ICTを活用して障がいを持つ人たちが子供たちが学べる教室「ユニバースクール」事業と障がいを持つ人たちが子供たちの学びを支える人たちの勉強会	NPO 法人 ユニバーサル クリエート	○視覚障害を持つ当事者と支援者を主な対象とした研修会の開催(windows7の使い方等) ○教育関係者、当事者、支援者による勉強会の実施	21年度
南風会設立5周年記念地域啓発事業	社会福祉法人 南風会	○記念式典(約500名参加、活動ビデオ紹介) ○劇団わらび座の公演	21年度
精神障害者バレーボール中国・四国ブロック大会開催事業	一般社団法人 愛媛県精神障害者 福祉会連合会	第9回全国障害者スポーツ大会バレーボール競技(精神障害者)中国・四国ブロック予選会の開催(愛媛県総合運動公園)	21年度
共に学び、友達と生き甲斐を作り、引き籠もり防止と社会参加を	中途視覚障害者 友の会	○月1回の定例会開催(行政サービスの周知、各種機器の使用講習) ○講演会や音楽会、各種行事の情報提供と参加者の掘り起こし	21年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
静的弛緩誘導法 親子学習会・研修会と 移動研修会の開催	松山肢体不自由児・ 者父母の会	○養護学校教師の訓練会開催 （8月、58名参加） ○障害児者対象の訓練会開催 （毎月県下各地で開催、受益対象者99名参加）	21年度 ※P18掲載
つながろうそして広げよう ダウン症をもつ人たちの 世界	日本ダウン症協会 愛媛支部	○医療機関等への訪問や資料送付による支援の 依頼 ○ダウン症児並びに家族の交流・研修 ○ダウン症児のダンスグループの大阪での全国 大会参加を支援	22年度
食から始まる 健康寿命講座	ボランティアグループ CAMS玉川	○内科医師、理学療法士、看護師、栄養士によ る講義と料理実習 ○食事が身体機能に及ぼす影響を考察	22年度 ※P20掲載
東予地域における在宅 重症心身障害児（者） 実態調査研究事業	愛媛県重症心身障 害児（者）を守る会	○東予地域（西条市、新居浜市、四国中央市） における在宅重症心身障害児（者）の実態と 希望調査（調査票回収率81%） ○報告書の作成と関係機関への配布（300部）	22年度
青年期の発達障害者 支援事業	ダンボクラブ （愛媛県高機能自閉症・ アスペルガー症候群 親の会）	○中学生・高校生を対象としたソーシャルスキ ルトレーニングの開催 ○保護者を対象とした専門家による勉強会 ○就労支援の講演会の開催	22年度
「えひめのチャレンジ には「愛」がある」 障がい者就農支援事業	NPO法人 ユニバーサル クリエート	○環境マイスターの農業指導を受け、チャレン ジによる野菜栽培 ○収穫した野菜を産直市等で販売し、地域住民 との交流促進	22年度
重度重複障害児者の為 の出前訓練会と研修会 の開催	愛媛県肢体不自由児・ 者父母の会連合会	○県下の支援学校・学級の先生向けの特別研修 会の開催（8月） ○東・中・南予地区での訓練会開催（毎月巡回）	22年度
ろう者と手話に関する 研修会	愛媛県手話サークル 連絡協議会	県下のサークル会員やろう者を集め、専門家によ る講演（講師 脇中起余子氏）と技術研修を 実施	22年度
Chairwalkers' Fashion Show(CFS)	活動団体 ネセサリーフォー	大街道アーケードにおいて、車椅子利用者を主 役としたファッションショー「Chairwalkers' Fashion Show」の開催	22年度
視覚障害者用録音物の デジタル化及び配布	朗読やすらぎ会	○デジタル録音技術習得のための研修 ○配布用CDの作成 ○第8回朗読発表会の開催	22年度
ダウン症児の子育て支援	日本ダウン症協会 愛媛支部	○親子ふれ愛キャンプ ○ママ友つくろうミニ集会（ダウン症について の話し等） ○親子わくわく♥Kitchen（体験型親子パン教 室を東・中・南予で開催）	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
心から始まる 健康寿命講座	ボランティアグループ CAMS玉川	○内科医、精神科医、認知症指導者による講演会（認知症理解、認知症への対応など） ○会員による啓発活動	23年度
障害児をもつ家庭の 父親の役割支援に関する 研修会	愛媛県重症心身障 害児(者)を守る会	父親の見識を深める研修会の実施 （障害に対する考え方の整理に関する研修、事例発表、ディスカッション、アンケートなど）	23年度
成人発達障害当事者の 支援事業	ダンボクラブ （愛媛県高機能自閉症・ アスペルガー症候群 親の会）	○ソーシャルスキル、認知行動療法講座、ライフスキル講座の開催 ○保護者勉強会の開催 ○就労支援についての講演会の開催	23年度
えひめのチャレンジド には「愛と希望」が ある・障害者就農支援 事業	NPO 法人 ユニバーサル クリエート	○福祉施設の指定農園での米・野菜栽培 ○産直市の運営 ○移動販売車の運行 ○物品販売イベントの開催 など	23年度
障害者対象の インターネットを 使った在宅就業管理 システムの開発	NPO 法人 ぶうしすてむ	○先進地見学 ○プログラム開発と実務使用 ○在宅者への就労向け遠隔授業の実施	23年度
ろう者と手話に関する 研修会	愛媛県手話サークル 連絡協議会	○ろう者の弁護を担当してきた講師による裁判員制度とろう者、手話通訳者についての講演（講師 日本弁護士会副会長 水谷賢氏） ○技術研修	23年度
愛媛県障がい者 災害対策支援セミナー	NPO 法人 フェロージョブ ステーション	○災害発生時の避難及び生活と、障害者支援についての講演の実施	23年度
愛媛県支部設立30周 年記念事業 ～認知症があっても 安心して暮らせる 社会を目指す～	公益社団法人 認知症の人と家族 の会愛媛県支部	○認知症に関する講演会及びシンポジウムの開催 ○研修会（サポーター養成講座）の開催	23年度
保護者団体設立・継続 支援事業	JDDネット愛媛 （日本発達障害ネット ワーク愛媛）	○宇和島市における保護者団体設立支援 ○今治市における保護者団体継続支援 ○紹介パンフレットの作成 ○保護者支援のための勉強会開催	23年度
相談支援事業 ピア相談員事業	社会福祉法人 きらりの森	○ピア相談員による電話相談 ○勉強会の実施 ○先進地視察 ○広報・普及啓発活動	23年度 ※ P21掲載
耳と目で聴く 「アラスカ・フォト ライブ」	要訳筆記 パートナー歩歩	松山市出身の写真家・松本紀生氏による「アラスカ・フォトライブ」を、聴覚障害者への情報保障（パソコン要訳筆記、手話通訳、磁気誘導ループ）を備えて実施	23年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
摂食指導研修会とコミュニケーション・活動支援研修会の開催	愛媛県肢体不自由児・者父母の会連合会	○摂食指導研修会（理論と具体的な指導方法） ○コミュニケーション・活動支援研修会（代替的な手段の活用を含めた具体的・実践的な研修）	23年度
視覚障害者用録音物デジタル化事業	伊予市音読グループ	○パソコン基本操作講習会の開催 ○デジタル録音収録技術講習会の開催	23年度
ダウン症の理解・支援の啓発活動	日本ダウン症協会愛媛支部	○ダウン症の啓発に関する広報活動（資料配布、講話等） ○パンフレット「ゆっくり育つ子どもたち」改訂版の作成 ○ダンスライブの開催	24年度
備えから始まる健康寿命講座	ボランティアグループCAMS玉川	地域住民を対象として、避難所における高齢者に対する介護技術講座の開催	24年度
発達障害対応事例集発行事業	ダンボクラブ（愛媛県高機能自閉症・アスペルガー症候群親の会）	児童期から成人期に至るまでの発達障害当事者への対応事例をアンケート調査し、事例集として発行	24年度
静的弛緩誘導法研修会とコミュニケーション・活動支援研修会の開催	松山肢体不自由児・者父母の会	○県下の特別支援学校の先生を対象として、静的弛緩誘導法の研修会を開催 ○ipad等を活用したコミュニケーション・活動支援研修会の開催	24年度
災害時における聴覚障害者を取り巻く環境改善についての研修会	愛媛県手話サークル連絡協議会	災害時の対応について、組織づくりや対応準備に関する研修を実施し、参加者に災害用バンダナとSOSカードを配布	24年度 ※P23掲載
アビリンピック国際大会を目指し選手育成と支援ネットワークを拡充する事業	NPO法人ネセサリーフォー	○競技参加者を募り個別研修会を実施 ○全国アビリンピック大会と同等の技能競技会の開催	24年度
発達障害に特化した防災対策・地域支援事業	JDDネット愛媛（日本発達障害ネットワーク）	○防災対策事業（被災地から招いた保護者による講演等の実施） ○地域支援事業（大洲市内で、地域における発達支援について考えるシンポジウムの開催）	24年度
愛媛県立とべ動物園花いっぱい運動	NPO法人園でピース	会員や地域住民、作業所の障害者親子等が参加し、とべ動物園入り口ゲート付近、ふれあい広場等で、プランターに花の苗を植え付ける「花いっぱい運動」を実施	24年度
誰にも語れる「伊予弁のやさしいお伽話」	お伽座	○これまで語り継いできた民話をまとめた冊子「お伽座の語り2」500冊の作成 ○施設・サロンなど介護現場への冊子の配布	24年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
発達しょうがい者の就労に向けた実践型研修事業	家族支援・自立活動グループ リトルウイング	○ワードとインターネット利用を中心としたパソコン技術の研修 ○コミュニケーション・接客技術の研修	24年度
子育て支援に関する事業			
えひめ子どもNPOネットワーク構築事業	NPO法人 子育てネットワーク えひめ	○関連団体の活動支援、情報交換を行うメーリングリストの構築 ○子育て支援者スキルアップ講座の開催	20年度
地域ふれあいひろば事業	愛媛県地域活動連絡協議会	シルバー人材センターの協力を得て、子育て経験を持つ方々と親子のふれあい交流事業、児童劇・人形劇団等の公演など、三世代交流プログラムを実施（4か所）	20年度
「子どもの権利条約」に関する理解・啓発促進事業 （愛媛児童福祉施設連合会子どもの権利ノート作成等事業）	愛媛児童福祉施設連合会	○愛児連子どもの権利ノート活用状況調査の実施 ○新・権利ノートの作成・配布	20年度
地域の育児サポート力を高めるための子育て支援者スキルアップ研修～地域でできる妊娠期からの子育て支援～	NPO チャイルド・オレンジ・ネットワーク	母子保健推進員、民生児童委員、幼稚園教諭等、妊産婦や乳幼児を持つ保護者に関わる地域の子育て支援者を対象に、3回の継続研修を実施（先駆的实践事例報告、実技演習、模擬ケースカンファレンス）	21年度
遊友学舎の食育講座	NPO法人 JMACS	松山市内の小学生の親子を対象として食育講座を開催（10組20名） ○フードマイレージや愛媛の食材について学習 ○生産農家との交流 ○自然農法の農家訪問 など	21年度
地域ネットワーク・交流事業	NPO法人 とべ子育て支援団体 ぽっかぽか	○幼稚園・保育所DE人形芝居をみよう！ ○地域の高齢者・中学生・親子の異世代交流を目的としたふれあいイベントの開催 ○小学生と乳幼児の母親による防災マニュアルの作成	21年度
はじめての人形劇との出会い「シアタースタート」事業	NPO法人 松山子ども劇場21	幼児～大人を対象に人形劇の実施 「まいごのおまわりさん」 （招へい団体：よろず劇場とんがらし）	21年度
えひめ病気の子どもネットワーク事業	NPO法人 ラ・ファミリエ	○ピアカウンセリング広報のためのパンフレット、ポスターの作成・配布 ○親の会同士の交流会・研修会の実施	21年度
学童保育（児童クラブ）指導員 ①リーダー養成講座 ②研修会 ③交流会	愛媛県学童保育連絡協議会	○学童保育指導員リーダー養成講座の開催 ○学童保育指導員研修会の開催 ○学童保育指導員交流会（東・中・南予各地区）の開催	21年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
地域共育 ネットワーク事業	愛媛県地域活動 連絡協議会	協議会加盟クラブと地域で活動する親達を対象 とした三世代交流プログラムの実施(鑑賞活動、 造形活動、動物ふれあい活動、クッキング活動 等)	21年度
子育て支援の地域資源 調査のMAP化事業	子育て支援グループ こぶたたんぽぽ ポケットとんぼ	○子育て支援に関する情報収集 ○広域子育て支援マップの作成・配布 ○利活用検討委員会の開催 ○HP上への掲載	21年度
人形劇ワークショップ 事業	愛媛県地域活動 連絡協議会	○子育て中の母親を対象に、子育ての悩み等を テーマにした人形劇を作るワークショップを 実施 ○東予・南予で、次年度以降のワークショップ 実施に向けて観劇	22年度
遊友学舎の園芸療法士 による親子園芸教室	NPO法人 JMACS	園芸療法士による親子園芸講座の開催 (全7回、5回は元気な親子、2回は長期病気 療養中の親子対象)	22年度
子育て支援の地域資源 のMAP化継続事業 ～乳幼児親子の地域資 源体験ツアー～	子育て支援グループ こぶたたんぽぽ ポケットとんぼ	○海と山の資源を体験するツアーの開催 ○ミニ新聞とミニビデオ作成 ○利活用検討会の開催 ○HP上への情報掲載	22年度
食育・子育て支援	辻調・コンピトゥム 愛媛支部	児童養護施設の子どもたちにフランス料理を提 供し、マナーも教え、料理の素晴らしさを伝える	22年度
遊友学舎の園芸療法士 による親子園芸教室	NPO法人 JMACS	園芸療法士による親子園芸教室 (4回実施、2回は松山市近隣の小学生親子対 象、2回は松山近辺の病院で心臓病を持つ子ど もとその親が対象)	23年度 ※P22掲載
表現力UP ふれあい事業	愛媛県地域活動 連絡協議会	○南予で、地域住民や子育て中の保護者を対象 に劇団を作り上げるワークショップの実施 ○東予・中予で、次年度以降のワークショップ に向けた観劇	23年度
食育、子育て支援	公益社団法人 全日本司厨士協会 四国地方愛媛県本部	児童養護施設で食事会の実施 (夕食作り、テーブルマナーの講習、食育につ いての講話)	23年度
外遊びの必要性和効果、 地域における外遊びの 具体的な進め方	NPO 松山 冒険遊び場 みんなだいすき！	○「子ども達の遊びの力」についての講演会と ワークショップを開催 ○インターネットで「子どもの遊びについての アンケート」実施 ○レポートの作成・配布	23年度
表現あそび事業	愛媛県地域活動 連絡協議会	○東予で表現を豊かにするワークショップの実施 ○南予・中予で今後の事業実施に向けた観劇や 表現あそびの実施	24年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
円居（まどい）の 場所づくり	NPO 法人 どんぐり王国	○引きこもりの子と保護者のための居場所作り、週1回一緒に料理して会食する「円居（まどい）の日」の開催 ○農作業（野菜栽培、発酵食作り） ○スタッフ勉強会	24年度
地域福祉活動に関する事業			
地域の交流拠点 空間づくりモデル 検討事業	縁側プロジェクト	地域交流拠点の開設に先立ち ○県内外の拠点を視察し、運営や課題を整理 ○地域住民に交流拠点の価値を伝えるシンポジウムを開催	20年度
住民参加型の 在宅福祉サービス事業	NPO 法人 ぽっかぽか川之江	商店街の一角で、高齢者、障害者と地域の人が交流する憩いの場を提供 ○料理教室 ○生きがいサークル（陶芸・手芸・生け花等）	21年度
地域福祉・愛媛版 「団塊世代の老い方・死に方・支え合い方」	縁側プロジェクト	○県内3地域で地域勉強会の開催 ○合同公開講座「愛媛の団塊世代の老い方・死に方・支え合い方」の開催	23年度
福祉と医療の連携推進に関する事業			
排泄ケアマニュアル 作成事業	えひめ排泄ケア 研究会	医師、看護師、介護職員等とともにアセスメント方法に関する解説と、アセスメントに基づくケア方法を記載したマニュアルを作成し、地区別勉強会で研修用テキストとして無償配布	20年度
医教連携セミナー	NPO 法人 えひめ未来教育 ネット	○医師と教師の連携セミナーの開催 ○医師、教師、保護者、関係者による発達障害学習会の開催	24年度
災害時透析医療	愛媛県腎臓病患者 連絡協議会	○県内透析患者向けに、災害時の備えについて周知するブックレットを発行、配付	24年度 ※P24掲載
その他の社会福祉の向上に関する事業			
「愛媛いのちの電話」 地域ニーズ調査事業	社会福祉法人 愛媛いのちの電話	○新居浜市と宇和島市における分室に関するニーズ調査 ○他県の取組みについての調査 ○宇和島市と新居浜市での講演会開催	20年度
一日分室の試行	社会福祉法人 愛媛いのちの電話	○新しい電話システム導入による一日分室の開設（新居浜市、宇和島市） ○講演会「こころの病気予防～うつ病にかかりにくくしよう」の開催（内子町）	21年度
DV防止啓発学習会 実施事業	えひめDV被害者 サポートセンター	ワークショップを取り入れた学習会の開催（四国中央市、松前町、大洲市、西予市）	21年度

事業名	団体名	事業概要	助成年度
「インターネット相談」 人材育成事業	社会福祉法人 愛媛いのちの電話	先進のセンターに研修生を派遣し、インターネット相談開始に向けての人材育成 7月 日本電話相談学会に参加 10月 いのちの電話相談員全国研修会に参加 11月 福岡いのちの電話の視察	22年度
ファミリーバイオレンスをなくするための 研修会実施事業	えひめDV被害者 サポートセンター	児童虐待、配偶者間暴力、高齢者虐待等、ファミリーバイオレンスの実情を知り、その根絶に向けて研修会を実施	22年度
「いのちの俳句」 作品募集事業	社会福祉法人 愛媛いのちの電話	小中学生、高校生、一般を対象に「いのちの俳句」作品募集と発表、表彰	23年度
心と体の健康フェスタ 2011 ～働く人の健康管理～	一般社団法人 日本産業カウンセラー 協会四国支部	○ヨガによるストレス・セルフケア ○メンタルヘルスに関する講演会 ○体験ミニミニカウンセリング、企業のメンタルヘルス対策に関する個別相談会	23年度
みんな笑顔の愛媛を つくる！ 性的マイノリティを テーマにした映画祭の 開催事業	レインボープライド 愛媛	○性的マイノリティをテーマとする映画作品5本程度を集めた映画祭の開催 ○映画祭終了後の座談会の開催	23年度
小中高生の 運動器障害の 予防啓発パンフレットの 作成	公益社団法人 愛媛県理学療法士会	○小中高生の運動器障害を予防するための指導用パンフレット3,000部の作成、配布	24年度

(4) 県直営事業一覧

事業名	担当課	事業概要	実施年度
環境保全・自然保護分野			
ストップ温暖化意識定着事業	環境政策課	20年6月の県地球温暖化防止県民運動推進会議の設立、県民運動の開始宣言を受け、各種事業を実施し、住民レベルから地球温暖化防止の県民運動を盛り上げる。	20年度
エコツーリズム導入検討事業	自然保護課	自然環境等の保全に責任を持った利用を促進するため、エコツーリズムなど持続可能な自然環境の利用方法を検討する。	20年度
省エネ家電等普及県民運動推進事業	環境政策課	民生部門等の温室効果ガス排出量の削減を図るため、最先端の省エネ技術の展示会等を開催し、県民の温暖化防止対策に関する知識・情報の普及啓発を行う。	21年度
環境リーダーパートナーシップ構築事業	環境政策課	地域の環境リーダーが相互の交流を通じてパートナーシップを構築するとともに、効果的な環境イベント開催手法を習得することにより地域の環境活動を活性化させ、県民の環境保全意識の向上を図る。	21年度
生物多様性シンポジウム開催事業	自然保護課	県、事業者、県民がそれぞれの役割に応じた活動により、自然を守っていくためにシンポジウムを開催し、生物多様性の保全の重要性について県民意識の醸成を図る。	21年度
高校生地球温暖化防止推進事業	高校教育課	地域と連携した環境体験学習や地球温暖化問題の調査・研究等を行うことにより、高校生への環境教育の充実を図る。	21年度 ※P26掲載
えひめ環境新時代推進事業	環境政策課	えひめ環境基本計画及び県地球温暖化防止新実行計画の策定を契機に、22年度から「えひめ環境新時代」と位置付け、県民総ぐるみで低炭素社会の実現を目指す。	22年度
自然保護ネットワーク形成事業	自然保護課	自然保護指導員や自然保護活動団体等を対象に、自然保護・監視活動に関する知識・技術の向上のための研修等を通じて、「えひめ自然の守（もり）ネットワーク」の形成を図る。	22年度
えひめの生き物保護推進事業	自然保護課	県レッドデータブック県民参加調査やキャラバンセミナーを通じて、生物多様性保全の重要性を広く県民に周知し、意識の醸成を図る。	22年度
環境パートナーシップ推進事業	環境政策課	地域における環境活動を活性化するため、地域に根ざした環境パートナーシップの構築と、地域住民の環境活動への一層の参加促進を図る。	23年度
次世代環境リーダー育成事業	環境政策課	環境保全活動の推進のため、次世代の環境リーダーとなりうる人材の育成と、県民の環境保全等に対する意識の醸成を図る。	23年度

事業名	担当課	事業概要	実施年度
自然公園エコロジカルふれあい事業	自然保護課	自然公園での生物多様性の保全のため、自然公園の利用マナー啓発事業、石鎚山クリーンアップ事業、エコツーリズム推進事業を実施する。	23年度 ※P28掲載
家庭の省エネ普及促進事業	環境政策課	「エコファミリー」として登録した家庭に、省エネのアイデア等を提供するとともに、節電啓発イベントの開催等に取り組む。	24年度
環境協働取組推進事業	環境政策課	改正環境教育等推進法の趣旨を周知するための研修会を開催するとともに、環境リーダーのレベルアップ等、環境に関する協働取組みの体制整備を図る。	24年度
環境分析・研究情報発信事業	環境政策課	衛生環境研究所の施設を一般県民に開放し、環境に関する業務内容や調査・研究成果等を情報提供する。	24年度
生物多様性えひめ戦略推進事業	自然保護課	小学校教諭、NPO等を対象としたワークショップを開催し、児童向けの分かりやすい生物多様性の普及資料を作成する。	24年度
エコハイスクール推進事業	高校教育課	高校生が環境保全等を自らの課題として実感し、その解決に主体的に取り組むことを通して「持続可能な社会」の構築に貢献する態度を育てることを目的とする。	24年度 ※P29掲載
社会福祉分野			
「愛媛の救急医療を守る県民運動」推進事業	医療対策課	救急医療をはじめとした地域医療を維持・確保するため、市町や医師会等との連携のもと、医療機関への適切な受診の普及・定着を「県民運動」として推進し、二次救急医療機関の負担軽減を図る。	20年度
高齢者被害防止緊急対策事業	警察本部	高齢化社会の進展に伴い深刻化する高齢者の交通事故や悪質商法等の被害の未然防止を図るため、高齢者向けの情報紙を作成し、高齢者世帯に配布する。	20年度
福祉避難所運営支援事業	保健福祉課	災害救助法が適用される大規模災害が起こった場合に災害時要援護者が避難する福祉避難所の指定を促進するとともに、その運営が円滑に行われるよう図上訓練や研修会を実施する。	21年度
パーキングパーミット制度推進事業	障害福祉課	障害者等歩行困難者に県内共通の利用証（パーキングパーミット）を交付し、身体障害者等用駐車場の適正利用を図る。	22年度 ※P27掲載
高齢者夜間反射材着用促進事業	警察本部	リストバンド型夜間反射材の着用を促進し、高齢者の交通事故被害を抑止する。	22年度

事業名	担当課	事業概要	実施年度
地域子育て活動支援事業	子育て支援課	地域で子育て支援活動を行っている支援者の支援の質の向上を図るとともに、子育てを支援、実践している団体・個人を表彰する。	23年度
自転車事故防止 シミュレーター整備事業	警察本部	高齢者に対する自転車安全教室において、自転車シミュレーターによる指導を通じて危険場면을体験することにより、高齢者の自転車事故の未然防止を図る。	23年度
災害時障害者支援の手引き 作成事業	障害福祉課	障害種別等によるニーズの違いを明確にした災害時障害者支援の手引きを作成、配布することで、市町における災害時の障害者支援マニュアルづくりを促すとともに、支援者に対する普及啓発に取り組む。	24年度
知事特認			
えひめ結婚支援センター (仮称) 運営事業	子育て支援課	少子化の主たる原因である未婚化・晩婚化に対応するため、NPOや市町等と連携し、結婚支援イベントを実施することにより結婚を支援する。	20年度 ※ P25掲載
愛媛マンダリンパイレーツ 地域活動推進事業	企画調整課	県民球団として再スタートする愛媛マンダリンパイレーツが、スポーツを通じて県民と交流することにより、球団を地域活性化やスポーツ振興に一層大きな役割を果たす存在として育成する。	22年度
東日本大震災被災地支援 事業	企画調整課	東日本大震災の被害を受けられた方々に対し、日本赤十字社愛媛県支部を通じて義援金を贈呈し、一刻も早い生活再建を支援する。	22年度

(5) 三浦保環境賞

【概要】

三浦保環境賞は、愛媛県内において環境保護活動が続けている個人又は団体を紹介するとともに、特に優れた活動を表彰することにより、愛媛における環境活動の普及・発展に寄与する。

【受賞者一覧】

年 度	受 賞 区 分 ・ 受 賞 者			
20年度	大 賞	無茶々園	西予市	自然に優しい有機農業への取り組み
	知 事 賞	みどり戦隊ファームレンジャー	松野町	温暖化防止啓発
	奨 励 賞	県立伊予農業高等学校	伊予市	ひまわり利用のバイオマスエネルギー普及活動
	県奨励賞	県立松山工業高等学校	松山市	環境をテーマに高校生の出前授業
	特 別 賞	キスケ株式会社	松山市	建物の屋上緑化でCO ₂ 削減
21年度	大 賞	新興工機株式会社	松前町	放置竹林を利用した飼料ペレット製造研究
	知 事 賞	松山市立日浦中学校	松山市	ホタル保護を中心とした地域環境の保全
	奨 励 賞	NPO 法人愛媛生態系保全管理	内子町	自然との共生を目指す環境教育
	県奨励賞	有限会社富士タクシー	松山市	電気自動車タクシーの先駆的導入
	特 別 賞	上林を考える会	東温市	地域を挙げてヒマワリ油で環境学習
22年度	大 賞	NPO 法人石鎚森の学校	西条市	霊峰石鎚の自然環境保全活動
	知 事 賞	有限会社内藤鋼業	内子町	木質ペレットの普及
	奨 励 賞	長崎工業株式会社	今治市	放置竹林の竹を原料とした有機堆肥の開発
	県奨励賞	よろず体験事務所をかしや	今治市	自然体験活動の企画実施・人材育成
	特 別 賞	宇和のツルを見守る会	西予市	ツル・コウノトリと人の共生環境づくり
		株式会社エコボイラ	松山市	環境と地域活性化を狙うボイラー開発・販売
23年度	大 賞	広見川夢の会	鬼北町	広見川の水環境保全と駅伝大会等の住民啓発活動
	知 事 賞	宇和島市立遊子小学校	宇和島市	環境にやさしい石鯨づくりなど海の環境保全活動
	奨 励 賞	Yサークル	松山市	高縄山の登山道整備と清掃活動
	県奨励賞	柳沢ゲンジボタル保存会	大洲市	矢落川のホタル保存活動とほたるまつりの開催
	特 別 賞	諏訪崎を愛する会	八幡浜市	諏訪崎の海岸と赤ガニ産卵ルートの清掃活動
		宇和海海中資源保護対策協議会	愛南町	オニヒトデ駆除によるサンゴの保護活動
24年度	大 賞	愛媛大学大学院逸見彰男研究チーム	松山市	磁性化ゼオライトによる被災農地の除染の研究
	知 事 賞	株式会社ダイキアクシス	松山市	廃食用油を原料としたバイオ燃料の製造事業
	奨 励 賞	えひめ千年の森をつくる会	東温市	千年続く森を目指した植樹等の環境保全活動
	県奨励賞	大三島の自然を守る会	今治市	大三島特有の野生生物の調査等の環境保全活動
	特 別 賞	えひめ森の案内人会	松山市	子ども達への野外活動教室等の森林保全活動

(注) 16～19年度は(株)あいテレビの実施する「三浦保環境賞」と県が実施する「えひめ環境賞」が並存していたが、「三浦保」愛基金の創設(20年度)を契機に両賞を統合して「三浦保環境賞」として実施。

あ と が き

平成20年度に事業を開始した愛媛県「三浦保」愛基金は、この5年間で、公募事業では、環境、福祉分野を合わせて、延べ200を超える団体に助成を行い、県直営事業では、28事業が実施されております。

三浦保様は、学生時代に担任の先生から「一隅を照らす人間になれ」と教えられ、それに感銘し、この言葉を大切にされたそうです。

「三浦保」愛基金事業を活用した皆様の創意工夫に満ちた取組みは、まさに「一隅を照らす」活動であり、心から敬意を表しますとともに、これからも多くの皆さんがこういう活動をされることによって、一隅を照らす一燈が萬燈となって、明るく住みやすい愛媛づくりにつながることを期待いたします。

ここにあらためまして、貴重な財産を御寄附いただいた三浦様に心から厚く御礼申し上げますとともに、基金事業の推進に多大な御尽力をいただいている運営委員会委員の皆様、並びに県関係部局の職員の皆様に感謝申し上げます。

「三浦保」愛基金運営委員会 委員長 永野 英詞

愛媛県「三浦保」愛基金
5年間の歩み

—— 愛媛県「三浦保」愛基金創設5周年記念集 ——

平成25年 7 月 発行

愛媛県「三浦保」愛基金

5
年間の歩み

